

平成 29 年度版

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善  
中学校社会科 高等学校地理歴史科・公民科編

授業実践資料集



平成 30 年 3 月  
岩手県立総合教育センター  
教科領域教育担当



## 目次

### 1 はじめに

#### 2 重点単元① 資料

- (1) 宮古市立宮古西中学校（公民的分野）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (2) 岩手県立岩泉高等学校（日本史B）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- (3) 岩手県立盛岡第三高等学校（倫理）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (4) 岩手県立大船渡東高等学校（地理A）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- (5) 岩手県立山田高等学校（現代社会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- (6) 岩手県立福岡高等学校（日本史B）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

#### 3 重点単元② 資料

- (1) 宮古市立宮古西中学校（公民的分野）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- (2) 岩手県立岩泉高等学校（日本史B）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
- (3) 岩手県立盛岡第三高等学校（倫理）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
- (4) 岩手県立大船渡東高等学校（地理A）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
- (5) 岩手県立山田高等学校（現代社会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
- (6) 岩手県立福岡高等学校（日本史B）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

### 1 はじめに

岩手県立総合教育センターでは、『資質・能力の「三つの柱」を総合的に育む授業づくり～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて』をタイトルに、中学校・高等学校の国語，数学，社会・地理歴史・公民（以下，社会と表現する），理科，英語の5教科で，平成28年度と平成29年度の2年研究を行いました。

本研究の研究報告書（総論）では研究成果の報告を，教科毎のガイドブックでは実際の授業づくりについて提案しています。

この研究に先駆け，社会では，平成27年度に県内高等学校を研究協力校にして先行研究が行われており，今回は研究協力校1校，研究協力員5名，研究担当者2名で研究及び実践を行いました。

この実践資料集では，原則として研究協力校及び研究協力員の重点単元2回分の「単元構想シート」，「パフォーマンス課題とルーブリック」，「生徒作成事例」の3点を掲載しています。

ガイドブックに掲載している単元構想シート等は，協力をいただいた先生方の実践の積み重ねを基に開発したものであり，この実践資料集に掲載している実践例は今回の提案の基となっているものです。研究報告書（総論）および社会/地理歴史・公民のガイドブックと合わせてご覧下さい。

※発刊にあたっては，若干の加筆や訂正を行っています。

2 重点単元①資料

(1) 宮古市立宮古西中学校 吉田 優哉 教諭

ア 単元構想シート (公民的分野)

| 社会科単元構想シート  |   |   |
|---|---|---|
| [第3学年 公民的分野]<br>第1章 現代社会と私たちの生活<br>1節 現代社会の特色と私たち   | 学校名   | 宮古市立宮古西中学校  |
|   | 対象学級  | 3年B組  |
|   | 生徒数   | 男 15名、女 13名、計 28名   |
|   | 担当者   | 総合教育センター担当者による構想を基に<br>吉田 優哉 教諭に授業実践をしていただきました。   |
| <b>1 単元の目標(生徒が何ができるようになるか)</b>  |   |   |
| <b>知識・技能</b>  | <b>思考力・判断力・表現力等</b>   | <b>学びに向かう力・人間性等</b>   |
| 現代社会の特色としてグローバル化、情報化、少子高齢化などが見られることについて理解する。  | グローバル化、情報化、少子高齢化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現することができる。  | グローバル化、情報化、少子高齢化などの現代社会の特色に関心をもち、それらの影響や関連性などについて主体的に調べ分かつようとして意欲的に追究する。  |
| <b>2 単元ではたらかせる「見方・考え方」</b>  |   |   |
| 何について「学習対象となる社会的事象」   | どのような点に着目して見たり考えたりするのか「視点」  | どのように見たり考えたりするのか「方法(考え方)」   |
| <b>本単元について学習指導要領に示された見方・考え方</b>   |   |   |
| 社会的事象を  | <ul style="list-style-type: none"> <li>位置や空間的な広がり (地理的な見方・考え方)、</li> <li>推移や変化 (歴史的な見方・考え方) などに着目して捉え、</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で人間の営みと関連付けること (地理的な見方・考え方)</li> <li>類似や差違などを明確にし、事象同士を因果関係などで関連付けること (歴史的な見方・考え方)</li> </ul>   |
| <b>単元で働かせる「見方・考え方」</b>  |   |   |
| 現代日本の特色であるグローバル化、情報化、少子高齢化について、   | 現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響に着目して捉え、  | 人間の営みや事象同士の因果関係などで関連付けること。  |
| <b>3 単元における「学習課題」と「期待する姿」</b>   |   |   |
| <b>【単元の学習課題】</b><br>グローバル化・情報化・少子高齢化の進行は、現代社会にどのような影響を与えているのか。  |   |   |
| <b>【期待する姿】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル化により、たくさんの人、もの、お金などが国境を越えて移動することができるようになってきている。また、貿易などで国際競争と国際分業が進み、異なる文化との交流や国際協力が大切になってきている。</li> <li>情報化により、大量で多様な情報を手に入れることができるようになっていき、世界中の人たちとのコミュニケーションも簡単にとれるようになった。個人が情報を活用する力や情報モラルを身に付けていくことが大切になってきている。</li> <li>少子高齢化が進み、人口構造が変化してきている。将来、労働力人口が減少することが予測されるとともに家族や地域社会が変化し、介護などの福祉の充実などが必要になってきている。</li> </ul> |   |   |
| <b>4 単元の評価規準</b>  |   |   |
| <b>知識・技能</b>  | <b>思考・判断・表現等</b>  | <b>主体的に学習に取り組む態度</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル化が私たちの生活に与えている変化とその影響 (豊かで便利になっている点と課題となっている点) について理解している。(第2時)</li> <li>少子高齢化の進行で、課題となっている点について理解している。(第4時)</li> <li>「持続可能な社会」と「社会参画」の考えについて理解している。(第5時)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>情報社会への対応の仕方について、様々な立場や視点から考察し、相互に考えを交流することで理解を深めている。(第3時)</li> <li>グローバル化・情報化・少子高齢化がこのまま進行すると、今後10年くらいの間に自分たち生活や地域にどのような課題が生まれてくるか、自分の考えをまとめ適切に表現している。(第6時)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>スーパーマーケットの店内に見られる「グローバル化」「情報化」「少子高齢化」の影響に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。(第1時)</li> <li>「グローバル化」「情報化」「少子高齢化」の影響について、これまでの学びを意欲的に振り返っている。(第6時)</li> </ul>                                  |
| <b>5 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて</b>  |   |   |
| <b>主体的な学び</b>   | <b>対話的な学び</b>   | <b>深い学び</b>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル化、情報化、少子高齢化がスーパーマーケットの店内にもたらしている影響に気づき、単元の学習に関心・意欲を高める。(第1時)</li> <li>グローバル化、情報化、少子高齢化の影響について、これまでの学びを意欲的に振り返っている。(第6時)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>諸資料を活用し、グローバル化による私たちの生活の変化とその影響 (豊かで便利になっている点および課題になっている点) についてまとめる。(第2時)</li> <li>情報社会への対応の仕方について相互に考えを交流する。(第3時)</li> <li>統計資料を基に少子高齢化の進行と家族の多様化について、その原因と課題を理解する。(第4時)</li> <li>琵琶湖の環境保全などの具体的な事例を基に、持続可能な社会と社会参画の考えについて理解する。(第5時)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル化・情報化・少子高齢化により自分たち生活や地域にどのような課題が生まれてきているのか自分の考えをまとめていく。(第6時)</li> <li>グローバル化・情報化・少子高齢化がこのまま進行すると、今後10年くらいの間に自分たち生活や地域にどのような課題が生まれてくるか、自分の考えをまとめ適切に表現している。(第7時)</li> </ul> |

| 6 単元の指導と評価の計画(全7時間) |   |   |   |
|---------------------|---|---|---|
| 時間                  | 学習内容<br>用語・語句   | 【評価の観点】<br>評価規準<br>【評価方法】   | 学習課題(■)と主な学習活動(○)   |
|                     |   |   | 主体的・対話的で深い学び(重点)  |
| 1                   | スーパーマーケットから現代社会を見てみよう<br>・グローバル化<br>・情報化<br>・少子高齢化                    | 【主体的に学習に取り組む態度】<br>スーパーマーケットの店内に見られる「グローバル化」「情報化」「少子高齢化」の影響に関心をもち意欲的に追究しようとしている。<br>[発表・交流の様子、ノートへの記述]  | ■「スーパーマーケットの店内から現代社会の特色を見つけよう」<br>○「グローバル化」「情報化」「少子高齢化」がスーパーマーケットの店内にもたらしている影響に気づき、単元の学習への関心・意欲を高める。<br><br>■(単元課題)「グローバル化・情報化・少子高齢化の進行は現代社会にどのような影響を与えているのか」<br>■(パフォーマンス課題)「グローバル化・情報化・少子高齢化の進行は、10年後、宮古市や宮古市民の生活にどのような影響を与えているのか。グローバル化・情報化・少子高齢化の中から、特に大きな影響を与えていると考えられるものを1つ選び、お互いの考えを交流しあう」 |
|                     |   |   | 主体的な学び 対話的な学び 深い学び  |
| 2                   | グローバル化ー結びつきを深める世界<br>・国際競争<br>・国際分業<br>・食糧自給率<br>・国際協力<br>・多文化社会      | 【知識・技能】<br>グローバル化が私たちの生活に与えている変化とその影響(豊かで便利になっている点、課題となっている点)について理解し、まとめている。<br>[ノートへの記述]   | ■「グローバル化によって、私たちの生活や社会はどのように変化してきているのか」<br>○諸資料を活用し、グローバル化による私たちの生活の変化とその影響(豊かで便利になっている点と課題となっている点)についてまとめる。  |
|                     |   |   | 主体的な学び 対話的な学び 深い学び  |
| 3                   | 情報化ー情報が変える社会の仕組み<br>・メディア<br>・情報化<br>・情報リテラシー                         | 【思考力・判断力・表現力等】<br>情報社会への対応の仕方について、様々な立場や視点から考察し、相互に考えを交流することで理解を深めている。<br>[発表・交流の様子・ノートへの記述]  | ■「情報化による生活や社会の変化に、私たちはどう対応していけばよいのか」<br>○情報化の進展によって豊かで便利になっている点と課題になっている点をそれぞれ挙げる。<br>○情報社会への対応の仕方について、相互に考えを交流する。  |
|                     |   |   | 主体的な学び 対話的な学び 深い学び  |
| 4                   | 少子高齢化ー変わる人口構成と家族<br>・少子高齢化社会<br>・合計特殊出生率<br>・平均寿命<br>・少子高齢化<br>・核家族世帯 | 【知識・技能】<br>少子高齢化の進行で、課題となっている点について理解している。<br>[ノートへの記述]  | ■「少子高齢化によって、私たちの社会はどのように変化し、どのようなことが課題になっているのか」<br>○統計資料を基に少子高齢化の進行と家族の多様化について、その原因と課題を理解する。<br>○少子高齢化の進行で課題となっている点について説明する。  |
|                     |   |   | 主体的な学び 対話的な学び 深い学び  |
| 5                   | 持続可能な社会に向けて<br>・持続可能な社会<br>・東日本大震災<br>・ボランティア<br>・社会参画                | 【知識・技能】<br>「持続可能な社会」と「社会参画」の考えについて理解している。<br>[発表・交流の様子、ノートへの記述]   | ■「持続可能な社会に向けて、私たちに何ができるのか」<br>○琵琶湖の環境保全などの具体的な事例を基に、持続可能な社会と社会参画の考えを理解する。<br>○住んでいる地域に見られる「持続可能な社会」に関わる課題、「社会参画」の例について挙げる。  |
|                     |   |   | 主体的な学び 対話的な学び 深い学び  |
| 6                   | 現代社会のこれから①<br>(単元のまとめ)  | 【主体的に学習に取り組む態度】<br>「グローバル化」「情報化」「少子高齢化」の影響について、これまでの学びを意欲的に振り返っている。<br><br>【思考力・判断力・表現力等】<br>グローバル化・情報化・少子高齢化により自分たち生活や地域にどのような課題が生まれてきているのか、自分の考えをまとめている。<br>[ノートへの記述] | ◆(単元課題の解決)「グローバル化・情報化・少子高齢化は現代社会にどのような影響を与えているのか。」<br>○これまでの学習を振り返り、学習課題についてまとめる。<br>★(パフォーマンス課題の解決)「グローバル化・情報化・少子高齢化の進行は、10年後、宮古市や宮古市民の生活にどのような影響を与えているのか。グローバル化・情報化・少子高齢化の中から特に大きな影響を与えていると考えられるものを1つ選び、自分の考えを説明する」   |
|                     |   |   | 主体的な学び 対話的な学び 深い学び  |
| 7                   | 現代社会のこれから②<br>(単元のまとめ)  | 【思考力・判断力・表現力等】<br>グローバル化・情報化・少子高齢化がこのまま進行すると、今後10年くらいの間に自分たち生活や地域にどのような課題が生まれてくるか、自分の考えをまとめ、適切に表現している。<br>[発表・交流の様子、プリントへの記述]<br>※評価はルーブリックに基づき行う。                      | ★(パフォーマンス課題の解決)「グローバル化・情報化・少子高齢化の進行は、10年後、宮古市や宮古市民の生活にどのような影響を与えているのか。グローバル化・情報化・少子高齢化の中から特に大きな影響を与えていると考えられるものを1つ選び、自分の考えを説明する」<br>○グループ内で考えを交流し、理解を深める。   |
|                     |   |   | 主体的な学び 対話的な学び 深い学び  |

イ パフォーマンス課題とルーブリック

・パフォーマンス課題

「10年後の宮古市について、自分の考えを説明しよう！」

私たちが暮らす宮古市は「森・川・海とひとが共生するやすらぎのまち」づくりをテーマにしている自然に恵まれた街です。

市では、将来のまちづくりを担うことになる中学生を対象に「10年後の宮古市を考える会」を開くことにしました。あなたは、その会に宮古西中学校を代表して参加し、10年後の宮古市や宮古市民の生活がどう変化しているのか、未来像について自分の考えをレポートにまとめ発表し、参加メンバー（他校の代表生徒）に向けて発表します。

レポートには、これから学習していくグローバル化・情報化・少子高齢化の現代社会の3つの特色の中から、10年後の宮古市や宮古市民の生活が特に大きな影響を受けていると考えられるものを1つ選び、その未来像について自分の考えをまとめましょう。

参加メンバーに、「なるほどなあ・・・」と思わせることができるような発表を目指しましょう。

・ルーブリック（本単元の具体例）

| 評価規準             | 思考力・判断力   | 表現力   |
|------------------|---|---|
|                  | 考察(よく調べて考える)する力   | 説明(相手によくわかるように述べる)する力                             |
| 判断基準             | 社会の事柄の意味や意義、特色や関連を考察(よく調べて考える)する  | 考察したこと、構想したことを説明する                                |
| 5 ※A<br>すばらしい    | 「グローバル化」「情報化」「少子高齢化」の進行が、10年後の宮古市に与える影響について、 <u>単元の学習前に身に付けていた知識も生かして考えている</u>              | <u>適切な資料・内容や表現方法を選び、自分の考えを効果的に説明したり、論述したりしている</u> |
| 4<br>良い          | 「グローバル化」「情報化」「少子高齢化」の進行が、10年後の宮古市に与える影響について、 <u>この単元で学んだことを生かして、社会・文化・政治・経済等複数の面から考えている</u> | 自分の考えが明確に伝わるように説明する内容を組み立て、筋道を立てて分かりやすく説明している     |
| 3 ※B<br>合格       | 「グローバル化」「情報化」「少子高齢化」の進行が、10年後の宮古市に与える影響について、 <u>この単元で学んだことを生かして、様々な人の立場から考えている</u>          | <u>根拠や理由を明確にして、自分の考えを筋道を立てて分かりやすく説明している</u>       |
| 2<br>もう一歩        | 「グローバル化」「情報化」「少子高齢化」の進行が、10年後の宮古市に与える影響について考えているが、 <u>様々な人の立場をふまえていない</u>                   | 自分の考えを説明しているが、 <u>根拠や理由が不十分である</u>                |
| 1 ※C<br>がんばりましょう | 「グローバル化」「情報化」「少子高齢化」の進行が、10年後の宮古市に与える影響について、 <u>考えることができていない</u>                            | 自分の考えを説明できていない                                    |

【判定基準4】は、判定基準3の内容も達成できていることを含めて、【判定基準5】⇒判定基準3・4の内容も達成できていることを含めて判定する。



・ルーブリック（汎用モデル）

| 評価規準             | 思考力・判断力  |  | 表現力   |  |
|------------------|--|--|---|--|
|                  | 考察(よく調べて考える)する力  | 構想(考えを組み立てる)する力  | 説明(相手によくわかるように述べる)する力                         | 議論(意見を述べあう)する力   |
|                  | 社会の事柄の意味や意義、特色や関連を考察(よく調べて考える)する   | 社会にみられる課題をしっかりと理解して、その解決に向けて構想(考えを組み立てる)する                         | 考察したこと、構想したことを説明する                            | 考察したこと、構想したことをもとに議論する  |
| 5 ※A<br>すばらしい    | 社会の事柄等について、すでに理解し身に付けていた知識を生かして、様々な立場(国民、大人、子ども、男性、女性等)や側面(地理的、歴史的、政治的、経済的等)から考察(よく調べて考える)している | 社会に見られる課題を詳しく理解して、その解決に向けて自分なりの考え方をよどころにして構想(考えを組み立てる)している         | 適切な資料・内容や表現方法を選び、自分の考えを効果的に説明したり、論述したりしている    | 意見を一致させることやよりよい社会づくりに加わることを目指して、社会の事柄等について考えたことを、適切さや効果、実現できる可能性などを基準にして議論している |
| 4<br>良い          | 社会の事柄等について、様々な立場(国民、大人、子ども、男性、女性等)や側面(地理的、歴史的、政治的、経済的等)から考察(よく調べて考える)している                      | 社会に見られる課題を理解して、その解決に向けて学習したことをもとに複数の立場や意見をふまえて選択・判断している            | 自分の考えが明確に伝わるように説明する内容を組み立て、筋道を立てて分かりやすく説明している | 他の人の意見をふまえたり、取り入れたりして、社会の事柄等について自分の考えを組み立て直しながら議論している                          |
| 3 ※B<br>合格       | 社会の事柄等について、様々な立場(政治家、国民、大人、子ども、男性、女性等)から考察(よく調べて考える)している                                       | 社会に見られる課題を理解して、その解決に向けて学習したことをもとに、社会への関わり方を選択・判断している               | 根拠や理由を明確にして、自分の考えを筋道を立てて分かりやすく説明している          | 他の人の意見と結びつけたり、立場や根拠を明確にしたりして、社会の事柄等について自分の考えを主張している                            |
| 2<br>もう一歩        | 社会の事柄等について、調べ考えしているが、様々な立場(政治家、国民、大人、子ども、男性、女性等)をふまえていない                                       | 社会への関わり方を選択・判断しているが、社会に見られる課題の理解が不足していたり、これまで学習したことを生かしすることができていない | 自分の考えを説明しているが、根拠や理由が不十分である                    | 社会の事柄等に自分の考えを主張しているが、他の人の意見と結びつけたり、立場や根拠を明確にしたりすることはできていない                     |
| 1 ※C<br>がんばりましょう | 調べ考えることができていない   | 社会への関わり方を選択・判断できていない   | 自分の考えを説明できていない                                | 自分の考えを主張できていない   |

【判定基準4】は、判定基準3の内容も達成できていることを含めて、【判定基準5】⇒判定基準3・4の内容も達成できていることを含めて判定する。

ウ 生徒作成事例（本単元）

【便利になっている点・難点等】 調査書き、  
便利  
・介護サービスの整美  
・高齢者に優しい  
【自分の考えを文章中で書こう】

私が産んだのは、ウチ高齢化だ。現時点で宮古市は人口が減ってきている。高齢者が増え、子どもが減っている。廃校になった学校がいっぱいあるから、中1の時に行った第一産業体験でも、後継者の減少、作業する人の高齢化が課題としてあげられていた。しかし少子高齢化社会が課題にあけられる予、それにともなって、対応されている部分がある。例えばスーパーの宅配サービスや、介護サービスの充実・整美などがある。でも、まだ対応しきれない部分が多い。このことをふまえて、10年後の宮古市のことを考えてみると、まず人口が減少し、高齢者の割合が増える。そして、第一産業、宮古だと主に漁業などの衰退、伝統文化、習俗のものたてつ頭やいっしょい、黒森カベラなど後継者が不足し、後世に受け継ぐことができなくなり、なくなる。そして、第一産業の衰退によって、様々な業者が影響を受けるだろう。

少子高齢化という問題はとて大きな問題で、様々な場所で、その影響は受ける。ちと市の方で、考えてほしいと思う。例えば、今現在の対策として、高齢化への対策が多いが、少子化への目を向け、対策をほしいと思う。自分に何が出来るかといわれればはかりでできることは多くない、宮古の良さをアピールし、たくい人に知、てもらい、宮古にきてほしいと思、ている。商店街か、にきやかに、な、て、くれるとてうれしいと思、う。

【便利になっている点・難点等】 調査書き。  
例。高齢者が多いのは既述のとおりで高齢化がすすんでいること。理由は少子化や少子化が原因であること。  
例。文化施設が壊れ、高齢者が残ることが出来ず、など。  
【自分の考えを文章中で書こう】

10年後の宮古市の宮古市民の生活に大きな影響があるのは「少子高齢化」だと私は考えます。小中学校の生徒数の減少、農業、漁業、林業を営む人の年齢層が高くなり、少子化が進んでいると私は思います。東日本大震災をきっかけに宮古市は発展が留まらなくなった面が強いのが必要不可欠になりました。災害に強い街づくりや、防災のために必要な若い人が必要です。避難経路には高齢者が多い時間がかかります。一人がばい出る事があると思、います。そこで、若い人達が必要なのは思、います。若い人達が宮古市に産んでくれるので取り組む場合に若い人達がいてくれればいいかな、と思、っています。また、宮古市に子どもが来ると、若い人達が積極的に中心で、政、策、高、齢、者、を、お、も、て、ら、せ、る、防、犯、防、災、教、育、を、宮、古、市、で、行、う、高、齢、者、に、対、して、取、組、む、事、業、が、重、要、な、事、業、だ、と、思、っ、て、い、ま、す。同、時、に、少、子、化、も、進、む、事、業、が、重、要、な、事、業、だ、と、思、っ、て、い、ま、す。少、子、化、は、少、子、化、の、事、業、が、重、要、な、事、業、だ、と、思、っ、て、い、ま、す。少、子、化、は、少、子、化、の、事、業、が、重、要、な、事、業、だ、と、思、っ、て、い、ま、す。

(2) 岩手県立岩泉高等学校 古川 剣士 教諭

ア 単元構想シート (日本史B)

| <b>高等学校日本史B 単元構想シート</b> *単元や題材など内容や時間のまとまりで作成する  |   |  |                   |
|--|---|--|-------------------|
| <b>第2章 律令国家の形成</b><br><b>4 天平文化</b>  |   | 対象学級   | 岩泉高校 2年 Ⅲコース      |
|  |   | 生徒数  | 男子10名 女子12名 合計22名 |
|  |   | 担当者  | 古川 剣士             |
| <b>1 単元の目標(何ができるようになるか)</b>  |   |  |                   |
| 知識・技能  | 思考力・判断力・表現力等  | 学びに向かう力等   |                   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>天平文化の特色を地理的条件や世界の歴史、歴史を構成する諸要素に着目しながら総合的に理解する。</li> <li>諸資料から情報を効果的に読み取り天平文化の特色や意義についてまとめる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>天平文化の特色や意義を、時代展開に関わる概念等を活用して多面的・多角的に考察し、表現する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の歴史や文化、他国や他国の文化を尊重しようとする。</li> </ul>   |                   |
| <b>2 単元で働かせる「見方・考え方」</b>   |   |  |                   |
| 天平文化の特色を、時代背景や他国からの影響に着目して捉え、既習の文化や現代の文化との類似や差異を明確にしたり、事象同士を因果関係などで関連付けたりすること。   |   |  |                   |
| <b>3 単元における「学習課題」と「期待する姿(ゴール像)」</b>  |   |  |                   |
| <b>【単元の学習課題】</b><br>・天平文化の意義を探れ！   |   |  |                   |
| <b>【期待する姿(ゴール像)】</b><br>・律令国家体制のもと、国家意識の高まりの中で唐の影響を強く受けて成立した国際色豊かな貴族文化であることを、授業で習得した知識を活用して説明できる。  |   |  |                   |
| <b>4 単元の評価規準</b>   |   |  |                   |
| 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |                   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>天平文化の特色を地理的条件や世界の歴史、歴史を構成する諸要素に着目しながら総合的に理解している。</li> <li>諸資料から、天平文化の特色や意義を捉えるために必要な情報を効果的に読み取り、まとめている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>天平文化の特色や意義を、時代展開における、類似と差異及び背景に関わる概念を活用して多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の歴史や文化、他国や他国の文化を尊重しようとしている。</li> </ul>   |                   |
| <b>5 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて</b>   |   |  |                   |
| 主体的な学び   | 対話的な学び  | 深い学び   |                   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の学習課題を生徒の気付きや疑問を基に設定し、「学べきこと」を明確にさせる。(1時間目)</li> <li>○学習内容・活動に応じた振り返りの場面を設定し、学習の成果や課題に気付けるようにする。(毎時)</li> <li>○単元の学習課題解決を通して、文化尊重の大切さについて考える機会を設定する。(5, 6時間目)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒同士の協働や、教員との対話、先哲の考え方を手掛かりに思考し、深い学びとの関わりに留意しながら、自己の考えを広げ深めさせる。(2, 3, 4時間目)</li> <li>○実社会における知識の活用場面をパフォーマンス課題として設定し、相手意識に立った表現をさせる。(6時間目)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「歴史的な見方・考え方」が働くよう、意味や意義を問うような良質な問い(課題)を設定し、天平文化の背景や前後の文化との関連性を踏まえた考察や説明等を学習活動に組み込む。(2, 3, 4, 6時間目)</li> <li>○「教え合い」による確実な知識の定着を促進させる。(毎時)</li> </ul> |                   |



| 6 単元の指導と評価の計画 |                            |   |   |
|---------------|----------------------------|---|---|
| 時間            | 学習内容                       | 【評価の観点】<br>評価規準<br>[評価方法]   | 学習課題(■)と主な学習活動(○)   |
| 1             | ガイダンス<br>(課題把握)<br>天平文化と大陸 | 【主体的に学習に取り組む態度】<br>本単元で追究する学習課題に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。<br>[授業内容の振り返り(レスポンスカード)]                                      | ■「天平文化の意義を探れ！」<br>○「天平」という年号の持つ歴史的意義を生徒・教員相互で共有し合うことを通じて、この単元についての理解を深化させていくことを確認する。<br>主体的な学び 対話的な学び 深い学び                  |
| 2             | 国史編纂と『万葉集』                 | 【知識・技能】<br>国史や歌集などの個別の知識を身に付け、東アジアの情勢に着目し、国史や歌集編纂の意義について総合的に理解している。<br>[授業内容の振り返り(レスポンスカード)]                        | ■「なぜ、国史編纂が必要だったのか」<br>○国史や歌集編纂にかかる個別の知識の習得をし、概念として理解する。<br>○国史編纂者やその他の書物の編纂者の気持ちになって、それらが記された理由を考察する。<br>主体的な学び 対話的な学び 深い学び |
| 3             | 国家仏教の展開                    | 【思考・判断・表現】<br>当時の時代背景を踏まえ、国家仏教の意義について考察し、習得した知識を活用して適切に表現している。また、つづく平安時代の仏教との差異について思考している。<br>[授業内容の振り返り(レスポンスカード)] | ■「この時代の仏教と今の仏教の相違点を考える」<br>○国家仏教としての特色を、現在の仏教との相違点を抽出したうえで、なぜそのような相違が見られるのか、政治史との関連を通じながら考察する。<br>主体的な学び 対話的な学び 深い学び        |
| 4             | 天平の美術                      | 【思考・判断・表現】<br>天平の美術の持つ歴史的意義を理解し、歴史や文化尊重について考察している。<br>[授業内容の振り返り(レスポンスカード)]   | ■「阿修羅像の表情から何を感じるか」<br>○美術作品の特色から、当時の時代背景や他国の文化の影響を考察し、その歴史的意義を考察する。<br>主体的な学び 対話的な学び 深い学び                                   |
| 5             | パフォーマンス課題の準備               | 【知識・技能】<br>自分が捉えた天平文化の特色や意義を伝えるための情報を、諸資料から選択しまとめている。<br>[発表サポート資料]   | ■「天平文化の特色と意義が相手に分かりやすく伝わるサポート資料をつくらう」<br>○次時の発表で使用する発表資料を作成する。<br>主体的な学び 対話的な学び 深い学び  |
| 6             | 単元のまとめと振り返り(パフォーマンス評価)     | 【思考・判断・表現】<br>天平文化の特色や意義について、当時の国際社会と日本の関わりという視点から、具体例をあげて説明している。<br>[パフォーマンス評価]                                    | ■「天平文化の特色と意義を他者に伝える」<br>○パフォーマンス課題発表<br>主体的な学び 対話的な学び 深い学び  |

## イ パフォーマンス課題とルーブリック

### ・パフォーマンス課題

「天平文化の意義を説明する」～学芸員になって修学旅行生に説明しよう～

あなたは高校の日本史の授業の影響で、奈良の博物館の学芸員になりました。この博物館には修学旅行生が多数訪れます。今回、あなたは高校2年生の修学旅行生に天平文化について説明することになりました。なお、天平文化についてはこの高校2年生は履修済みだそうです。

単なる解説や意味説明に留まることなく、「天平文化の意義」について高校生に分かりやすく、そして深く理解してもらえるように、自作パネルを使いながら説明してみよう。

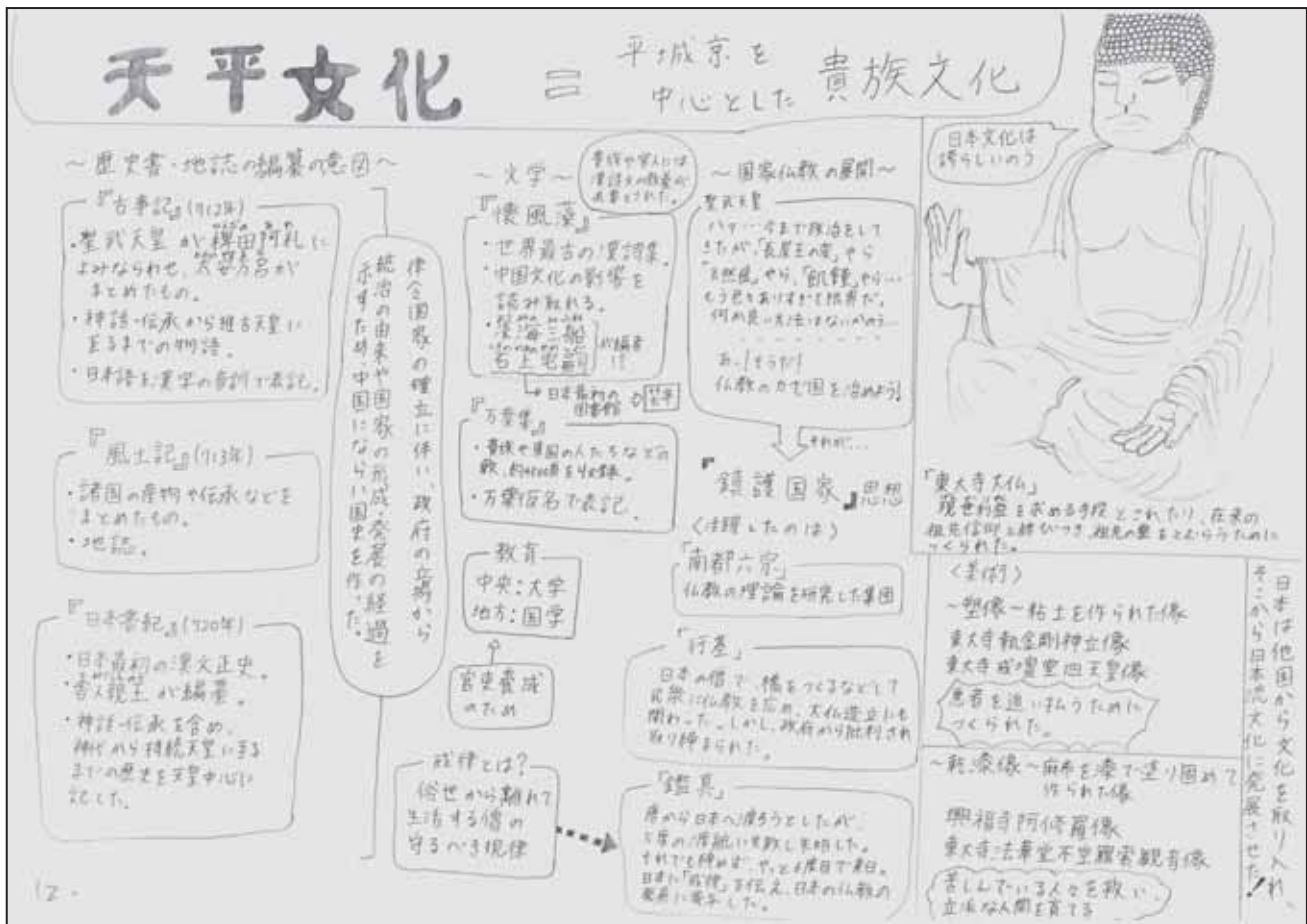
・ルーブリック

観点のうち「思考・判断・表現」を評価するものとして設定

| 評価規準 | 天平文化の意義について、当時の国際社会と日本の関わりという視点から文化の特色について具体例をあげて説明しているか。 |
|------|---|
| 5 ※A | 上記規準の下線部の全てが十分な理解のもとに説明がなされている                            |
| 4    | 上記規準の下線部の一部が十分な理解のもとに説明がなされている                            |
| 3 ※B | 上記規準の下線部の全てに触れて説明している                                     |
| 2    | 上記規準の下線部の一部を満たしていない                                       |
| 1 ※C | 2に至らないもの  |

ウ 生徒作成事例

(ア) 生徒が発表時に使用したサポート資料



※ 評価については、上記サポート資料を使った「発表」が対象である。

(イ) 生徒の発表内容

天平文化というのは、平城京を中心とした貴族文化です。

この時代は歴史書や地誌が多く編纂されました。その代表作として、古事記や日本書紀、風土記があります。これらは律令国家の成立に伴って、政府が国家の形成や発展の経過などを示すために中国に倣って編纂されたとされています。他にも漢詩集の懐風藻や、たくさんの人の歌が詰まっている万葉集などがあります。また、この時代に日本で初めて図書館も作られました。

それから、この時代は仏教が展開した時代でもあります。あるときに聖武天皇が「今まで政治をしてきたが、長屋王の変や天然痘やら飢饉やらいろいろありすぎて限界だ。何か良い方法はないかな？あ、そうだ。仏教の力で国を治めよう。」ということで考えられたのが鎮護国家思想です。ここで活躍したのが、南都六宗の集団や、日本の僧である行基、中国の鑑真などです。こうしてたくさんの人によって伝えられた仏教ですが、仏教と共に様々な美術も広まりました。悪い者を追い払うための東大寺戒壇堂四天王像や、苦しむ人々を救い立派な人間を育てることを願ったとされる阿修羅像などが作られました。しかし、この日本の仏教美術はインドなどの他の国と異なる点があります。例えば阿修羅像は他の国では厳しい顔をしているのに対し、日本では穏やかな顔をしています。

このように日本は他国から文化を取り入れ、そこから日本流文化に発展させました。

最後に東大寺大仏からひと言。

「日本文化は誇らしいのう」

(3) 岩手県立盛岡第三高等学校 高屋 恵理 教諭

ア 単元構想シート (倫理)

| 高等学校公民科(倫理) 単元構想シート   |  |  |
|---|--|--|
|   |  | 学校名 岩手県立盛岡第三高等学校   |
| <b>第2章 人間としての自覚</b><br><b>1 ギリシャの思想</b>   |  | 対象学級 3年1～3組(文系)  |
|   |  | 生徒数 36名×3クラス   |
|   |  | 担当者 高屋 恵理  |
| 1 単元の目標(何ができるようにするか)  |  |  |
| 知識・技能   | 思考力・判断力・表現力等   | 学びに向かう力等   |
| ・古代ギリシャの思想を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するために必要な概念や理論を理解すること。(知識)<br>・諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を効果的に読み取り、まとめること。(技能)  | ・古代ギリシャの思想をもとに、他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索すること。(思考力)<br>・現代の倫理的諸課題を解決するために、古代ギリシャの思想における概念や理論を活用し、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすること。(思考力・判断力・表現力等)         | ・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に調べわかっていくこととして課題を意欲的に追求すること。<br>・よりよい社会の実現を視野に現代の倫理的諸課題を見出し、その解決に向けて他者と協働して意欲的に考察・構想すること。   |
| 2 単元で働かせる「見方・考え方」   |  |  |
| 古代ギリシャの思想家(ソクラテス・プラトン・アリストテレス)の思想を、倫理、哲学、社会などに関わる多様な視点から捉え、人間と社会の在り方についての自覚を深めることに向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念などと関連づける。  |  |  |
| 3 単元における「学習課題」と「期待する姿(ゴール像)」  |  |  |
| 【単元の学習課題】<br>・古代ギリシャにおいて「①人間はどう生きていくべきか②社会はどうあるべきか」についてどのように考えられていたのか。<br>・古代ギリシャの思想をヒントとしたときに見えてくる、「①`自分のあるべき生き方②`現代社会のあるべき姿」とはどのようなものか。   |  |  |
| 【期待する姿(ゴール像)】<br>・ソクラテス(無知の知から出発して「善く生きる」人間の姿)、プラトン(アイデアを思慕する人間の姿・アイデアを理解した哲学者が政治を行う国家のあり方)、アリストテレス(現実社会において中庸を重んじる人間の姿・正義と友愛に基づいた共同体のあり方)という古代ギリシャの思想家の思想を理解し、その概念や理論を活用して自己の人間としての在り方生き方や現代の社会のあり方について思考・判断・表現する。 |  |  |
| 4 単元の評価規準   |  |  |
| 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |
| ・古代ギリシャの思想を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するために必要な概念や理論を理解している。(知識)<br>・諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を効果的に読み取り、まとめることができる。(技能)  | ・古代ギリシャの思想をもとに、他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索することができる。(思考力)<br>・現代の倫理的諸課題を解決するために、古代ギリシャの思想における概念や理論を活用し、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。(思考力・判断力・表現力等) | ・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に調べわかっていくこととして課題を意欲的に追求している。<br>・よりよい社会の実現を視野に現代の倫理的諸課題を見出し、その解決に向けて他者と協働して意欲的に考察・構想している。   |
| 5 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて   |  |  |
| 主体的な学び  | 対話的な学び   | 深い学び   |
| ・学習課題の把握の上に、その解決への見通しをもたせる。(1～3時間目)<br>・課題追究の必然性を持たせる導入を設定する。<br>・学習内容に応じて振り返りの場面の設定し、自己の成長を自覚(メタ認知)させる。  | ・生徒間での対話、教員や先哲との対話といった場を設定し、自己の考えを広げ深めさせる。(1～3時間目)<br>・学習内容に応じて様々な対象との対話の場を設定し、自己の考えの深まりを促す。   | ・人間としての在り方生き方や社会のあり方についての見方・考え方を活用した考察や、説明、議論等の学習活動が組み込まれた、課題を追求したり解決したりする場を設定する。(4時間目)<br>・社会的事象の特色や意味、理論などを含めた社会の中で汎用的に使うことのできる概念等に関わる知識を獲得するように学習を設計する。(4時間目)<br>・概念としての知識を活用して課題解決に向かうことを促す良質な問い(課題)を設定する。(毎時) |

| 6 単元の指導と評価の計画(全4時間) |             |   |   |
|---------------------|-------------|---|---|
| 時間                  | 学習内容        | 【評価の観点】<br>評価規準<br>[評価方法]   | 学習課題(■)と主な学習活動(○)   |
|                     |             |   | 主体的・対話的で深い学び(重点)  |
| 1                   | ソクラテス       | 【知識・技能】<br>ソクラテスの思想に関わる個別の知識を理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>習得した個別の知識をを概念化して人間の生き方について考えを深めている。<br><br>[ワークシート]                 | ■「よく生きるとは？」<br>○ソクラテスの思想に関わる個別の知識を習得し、「よく生きる」とはということなのかについて考える。<br><br>主体的な学び   対話的な学び   深い学び   |
| 2                   | プラトン        | 【知識・技能】<br>プラトンの思想に関わる個別の知識を理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>習得した個別の知識をを概念化して人間の生き方及び社会のあり方について考えを深めている。<br><br>[ワークシート]          | ■「理想的な人間のあり方とは？<br>そしてそれを保障する国家のあり方とは？」<br>○プラトンの思想に関わる個別の知識を習得し、理想的な人間の生き方及び社会のあり方について考える。<br><br>主体的な学び   対話的な学び   深い学び   |
| 3                   | アリストテレス     | 【知識・技能】<br>アリストテレスの思想に関わる個別の知識を理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>習得した個別の知識をを概念化して人間の生き方及び社会のあり方について考えを深めている。<br><br>[ワークシート]       | ■「(現実的に)人間はどう生きるべきか？<br>そしてそれを保障する国家のあり方とは？」<br>○アリストテレスの思想に関わる個別の知識を習得し、人間のあるべき生き方及び社会のあるべき姿について考える。<br><br>主体的な学び   対話的な学び   深い学び   |
| 4                   | 単元のまとめと振り返り | 【主体的に関わろうとする態度】<br>3人の思想家の思想の共通点や相違点等を俯瞰的に理解し、それをもとに自己の生き方や現代社会のあり方について思考を深め、自分自身の考え方を他者に有効に伝えることができる。<br><br>[パフォーマンス評価] | ■「(ギリシャ思想を踏まえ)自分はどう生きていくべきか？<br>そして今後の現代社会はどうあるべきか？」<br>○3人グループを作り、グループ内で1人ずつソクラテス・プラトン・アリストテレスのうち最も共感する思想家を担当し、担当した思想家について自己の生き方や現代社会のあり方と結び付けて発表する。<br><br>主体的な学び   対話的な学び   深い学び |



イ パフォーマンス課題とルーブリック

・パフォーマンス課題

自分自身と対話してみよう。

(ギリシャ思想を踏まえ) 自分はどのように生きていくべきか?そして今後の現代社会はどうあるべきか?

古代ギリシャの三賢人の思想や相違点を参考に、本単元の学習を通して自分が3人のうち最も影響を受けた思想家を一人挙げた上で、

- ①今後自分はどのように生きたいか、
  - ②今後現代の政治(社会)はどのようにあるべきか、
- について、自分の考えを自由且つ具体的に記せ。

・ルーブリック (A～Cの3段階で作成)

|   | 思考・判断・表現  | 知識   | 技能   |
|---|---|--|--|
| A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の生き方や現代の政治のあり方について深く思考し、シートの欄Bに適切な理由に基づいて思想家の考えに対する自分の意見を記している。</li> <li>・三賢人の思想の共通点や相違点を踏まえ、①今後の自分の生き方②現代社会のあり方について「3」に具体的に述べている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・シートの欄Aで記した思想家の人間観や国家観が正しい理解に基づいている。</li> <li>・シートの欄Aで記した人間観・国家観がシートの欄Bで記した事例と適切に結びけられている。</li> </ul>                                 | <p>授業プリントや資料集からギリシャ三賢人の思想内容を詳細に読み取り、シート内に自己の体験や現代の政治的課題等と結びつけてまとめている。</p>  |
| B | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の生き方や現代の政治のあり方についてある程度思考し、シートの欄Bに自分なりの理由に基づいて思想家の考えに対する意見を記している。</li> <li>・三賢人の思想を踏まえ、①今後の自分の生き方②現代社会のあり方について「3」に述べている。</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の生き方や現代の政治のあり方についてある程度思考し、シートの欄Bに自分なりの理由に基づいて思想家の考えに対する意見を記している。</li> <li>・三賢人の思想を踏まえ、①今後の自分の生き方②現代社会のあり方について「3」に述べている。</li> </ul> | <p>授業プリントや資料集からギリシャ三賢人の思想内容をある程度読み取り、シート内に自己の体験や現代の政治的課題等と結びつけてまとめている。</p>   |
| C | <ul style="list-style-type: none"> <li>・シートの欄Aで記した思想家の人間観や国家観の理解が一部適切でない。</li> <li>・シートの欄Aで記した人間観・国家観とシートの欄Bで記した事例とが一部適切に結びけられていない。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・シートの欄Aで記した思想家の人間観や国家観の理解が一部適切でない。</li> <li>・シートの欄Aで記した人間観・国家観とシートの欄Bで記した事例とが一部適切に結びけられていない。</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・シートの欄Aで記した思想家の人間観や国家観の理解が適切でない。</li> <li>・シートの欄Aで記した人間観・国家観とシートの欄Bで記した事例とが適切に結びけられていない。</li> </ul> |

ウ 生徒作成事例

編纂ワークシート「古代ギリシャの三賢人」

① 前時までの復習  
以下の3人の思想家が用いたキーワードについて、適切なものを括弧から3つずつ抜き出して記せ。

| 思想家の名前      | キーワード            | (選択)  |
|-------------|------------------|---|
| (1) ソクラテス   | 問答法 無知知 死刑判決     | ①問答法 ②無知と真実 ③個人生活<br>④道徳性 ⑤道徳的義務 ⑥愛国心<br>⑦美的理想 ⑧ポリス動物 |
| (2) プラトン    | イデア論 哲人政治 エロス    |   |
| (3) アリストテレス | 形而上学 経験的方法 ポリス動物 |   |

本時のテーマ: 『古代ギリシャの三賢人の思想』 自分は何のために生きていくのか? 今後はどのような社会が理想か?

上記の古代ギリシャの三賢人について、グループ内で1人ずつ担当する思想家を決めよ。その上で担当した人物の思想内容(上記①の一部を採り上げて文章や図などで個人にまとめよ。その際、取り上げた思想に自分自身は「賛成(共感)」or「反対(異議あり)」のどちらの立場をとるのかを明記し、その理由を「①自分の生き方」又は「②現代の政治(社会)のあり方」のいずれかの視点から見えなげらばとせ。理由を記し、グループ内で共有せよ。

| 思想家(担当) | A   | B  |
|---------|---|--|
| ソクラテス   | 「無知の知」と問答法<br>自分が何も知らない。本質をわかっていない。他人も他人もそれが真の意味で無い。思える。どんなに知識がある人間でも、自分にはまだ知らない。真実が存在することを信じていない人間は愚かである。また、知識への欲求は階級による差別を認め、自分が富貴に溺れる時にこそ芽生えるのである。 | 互で取り上げる思想に関連する「①自分の生き方」又は「②現代の政治(社会)のあり方」に関わる事例<br>「無知の知」or 反対(異議あり)<br>哲学者の二重苦悶の中心として、「なぜ大学に行きたいのか」という問いかけに響かされた。『専門学校でも普通教育でも可能な大学のカン。』、大学は教育を志すのみではなく、専門を志す、自分の専門性を磨くことで未来に立つ自分の道を拓くための場所を志す。未来、自分な大学に行きたいのか、自分だけがこそ学ぶ価値のあることは何なのかをよりよく問う、批判的思考が促される。 |

|             |  |   |
|-------------|--|---|
| ソクラテス (A)   | 「死刑判決」<br>・祖国は宗教的でない<br>・ポリス一帯に蔓延した<br>・何となく国・政治の手                             | 「賛成(共感)or 反対(異議あり)」<br>→ ①自分が死ななければならぬこと<br>②自分が死ななければならぬこと<br>③死にたいが、死ななければならぬこと<br>④死にたいが、死ななければならぬこと<br>⑤死にたいが、死ななければならぬこと |
| プラトン (A)    | 「イデア論」<br>・理想の世界は現実世界の背後にあり、そこには真理が存在する。<br>・イデアの世界は現実世界の原型であり、そこには正義と美徳が存在する。 | 「賛成(共感)or 反対(異議あり)」<br>・理想の世界は現実世界の背後にあり、そこには真理が存在する。<br>・イデアの世界は現実世界の原型であり、そこには正義と美徳が存在する。                                   |
| アリストテレス (A) | 「人間は政治動物である」<br>・幸福は徳による生活である。<br>・倫理的な教育は政治の基盤となる。                            | 「賛成(共感)or 反対(異議あり)」<br>・幸福は徳による生活である。<br>・倫理的な教育は政治の基盤となる。  |

② 古代ギリシャの三賢人の思想の共通点や相違点を参考に、本単元の学習を通して自分が3人のうち最も影響を受けた思想家を一人挙げた上で、①その後自分自身はどのように生きていきたいのか、②今後現代の政治(社会)はどのようにあるべきかについて自分の考えを自由且つ具体的に記せ。

最も影響を受けた思想家(アリストテレス)

エトラスは一人では生きていけない。『愛国心は大切だが、愛国心だけでは生きていけない。』  
エトラスは一人では生きていけない。『愛国心は大切だが、愛国心だけでは生きていけない。』  
エトラスは一人では生きていけない。『愛国心は大切だが、愛国心だけでは生きていけない。』

評価の観点  
古代ギリシャの三賢人  
ワークシート評価

編纂ワークシート「古代ギリシャの三賢人」

② 前時までの復習  
以下の3人の思想家が用いたキーワードについて、適切なものを括弧から3つずつ抜き出して記せ。

| 思想家の名前      | キーワード            | (選択)  |
|-------------|------------------|---|
| (1) ソクラテス   | 問答法 無知知 死刑判決     | ①問答法 ②無知と真実 ③個人生活<br>④道徳性 ⑤道徳的義務 ⑥愛国心<br>⑦美的理想 ⑧ポリス動物 |
| (2) プラトン    | イデア論 哲人政治 エロス    |   |
| (3) アリストテレス | 形而上学 経験的方法 ポリス動物 |   |

本時のテーマ: 『古代ギリシャの三賢人の思想(2)』 自分は何のために生きていくのか? 今後はどのような社会が理想か?

上記の古代ギリシャの三賢人について、グループ内で1人ずつ担当する思想家を決めよ。その上で担当した人物の思想内容(上記①の一部を採り上げて文章や図などで個人にまとめよ。その際、取り上げた思想に自分自身は「賛成(共感)」or「反対(異議あり)」のどちらの立場をとるのかを明記し、その理由を「①自分の生き方」又は「②現代の政治(社会)のあり方」のいずれかの視点から見えなげらばとせ。理由を記し、グループ内で共有せよ。

| 思想家(担当) | A   | B  |
|---------|---|--|
| ソクラテス   | 「無知の知」と問答法<br>自分が何も知らない。本質をわかっていない。他人も他人もそれが真の意味で無い。思える。どんなに知識がある人間でも、自分にはまだ知らない。真実が存在することを信じていない人間は愚かである。また、知識への欲求は階級による差別を認め、自分が富貴に溺れる時にこそ芽生えるのである。 | 互で取り上げる思想に関連する「①自分の生き方」又は「②現代の政治(社会)のあり方」に関わる事例<br>「無知の知」or 反対(異議あり)<br>哲学者の二重苦悶の中心として、「なぜ大学に行きたいのか」という問いかけに響かされた。『専門学校でも普通教育でも可能な大学のカン。』、大学は教育を志すのみではなく、専門を志す、自分の専門性を磨くことで未来に立つ自分の道を拓くための場所を志す。未来、自分な大学に行きたいのか、自分だけがこそ学ぶ価値のあることは何なのかをよりよく問う、批判的思考が促される。 |

|             |   |  |
|-------------|---|--|
| ソクラテス (B)   | 「無知の知」と問答法<br>自分が何も知らない。本質をわかっていない。他人も他人もそれが真の意味で無い。思える。どんなに知識がある人間でも、自分にはまだ知らない。真実が存在することを信じていない人間は愚かである。また、知識への欲求は階級による差別を認め、自分が富貴に溺れる時にこそ芽生えるのである。 | 「賛成(共感)or 反対(異議あり)」<br>問答法は、政治の世界で生きていくためには必要なスキルであり、無知を克服するための重要な手段である。また、問答法を通じて、人間は自己の限界を知ることができ、真実を追求することができる。 |
| プラトン (B)    | 「イデア論」<br>・理想の世界は現実世界の背後にあり、そこには真理が存在する。<br>・イデアの世界は現実世界の原型であり、そこには正義と美徳が存在する。  | 「賛成(共感)or 反対(異議あり)」<br>・理想の世界は現実世界の背後にあり、そこには真理が存在する。<br>・イデアの世界は現実世界の原型であり、そこには正義と美徳が存在する。                        |
| アリストテレス (B) | 「人間は政治動物である」<br>・幸福は徳による生活である。<br>・倫理的な教育は政治の基盤となる。   | 「賛成(共感)or 反対(異議あり)」<br>・幸福は徳による生活である。<br>・倫理的な教育は政治の基盤となる。   |

② 古代ギリシャの三賢人の思想の共通点や相違点を参考に、本単元の学習を通して自分が3人のうち最も影響を受けた思想家を一人挙げた上で、①その後自分自身はどのように生きていきたいのか、②今後現代の政治(社会)はどのようにあるべきかについて自分の考えを自由且つ具体的に記せ。

最も影響を受けた思想家(ソクラテス)

自分が無知だと自覚している人間こそが、本当の自分理解しているという点で、知恵が最も得た。問答法を行うことにより、人間は自己の状態に到達できる。①問答法は、個人でできず、自分一人では生きていけない。②自分は知恵が最も得た。③自分は知恵が最も得た。④自分は知恵が最も得た。

評価の観点  
古代ギリシャの三賢人  
ワークシート評価

(4) 岩手県立大船渡東高等学校 齋藤 信太郎 教諭

ア 単元構想シート (地理A)

|   |  |   |              |
|---|--|---|--------------|
| 高等学校地理歴史科(地理A) 単元構想シート  |  | 学校名   | 岩手県立大船渡東高等学校 |
| 第1部 現代世界の特色と世界の諸地域の課題<br>3章 世界の諸地域の生活・文化<br>7節 ヨーロッパ  |  | 対象学級  | 2年情報処理科      |
|   |  | 生徒数   | 38名          |
|   |  | 担当者   | 齋藤 信太郎       |
| 1 単元の目標(何ができるようになるか)  |  |   |              |
| 知識・技能   | 思考力・判断力・表現力等   | 学びに向かう力等  |              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパの自然環境や、農業・工業などの諸産業、食や宗教などの生活文化などを理解すること。(知識)</li> <li>諸資料から、ヨーロッパの地理的特色を効果的に読み取り、まとめること。(技能)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>イギリスのEU離脱問題をきっかけに、現在のヨーロッパが抱える課題について、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすること。(思考力・判断力・表現力等)</li> <li>ヨーロッパが抱える課題から、他者理解の視点に注目させ、その解決のために自らがどうあるべきか考えること。(思考力)</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパが抱える課題を自らと繋がりがあるものとして捉え、課題を発見し、自己の意識変革・理解の向上に努めようとする。</li> <li>課題解決のために、自己の意見を表明しかつ他者と協働して学びあい、見識を高めようとする。</li> </ul>           |              |
| 2 単元で働かせる「見方・考え方」   |  |   |              |
| ヨーロッパの地理的特色を、位置や空間的な広がり、歴史的背景等に注目して捉え、現在のヨーロッパが抱える課題を地域間の結びつきなどの枠組みのなかで把握し、人間の営みと関連付けて考える。  |  |   |              |
| 3 単元における「学習課題」と「期待する姿(ゴール像)」  |  |   |              |
| <p>【単元の学習課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパとはなにか。(①どのように出来たか?②どのような特色があるか?③どんな課題があるか?)</li> <li>イギリスはなぜEUを離脱したのか?</li> <li>あなたは文化的背景が異なる人とどのように付き合うべきか?</li> </ul>  |  |   |              |
| <p>【期待する姿(ゴール像)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパに関する地理的知識を習得するとともに、地理的な見方・考え方を養い、ヨーロッパについてその地域的特色を思考することができる。</li> <li>ヨーロッパが抱える課題について論理的に思考し、課題解決のために必要なことを考えるとともに、その思考を地域や自己の他者理解のあり方に転移させて思考・判断し、その結果を適切に表現できるようにする。</li> </ul> |  |   |              |
| 4 単元の評価規準   |  |   |              |
| 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパの自然環境や、農業・工業などの諸産業、食や宗教などの生活文化などを理解している。(知識)</li> <li>諸資料から、ヨーロッパの地理的特色を効果的に読み取り、まとめることができる。(技能)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>イギリスのEU離脱問題をきっかけに、現在のヨーロッパが抱える課題について、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。(思考力・判断力・表現力等)</li> <li>ヨーロッパが抱える課題から、他者理解の視点に注目させ、その解決のために自らがどうあるべきか考えることができる。(思考力)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパが抱える課題を自らと繋がりがあるものとして捉え、課題を発見し、自己の意識変革・理解の向上に努めようとする。</li> <li>課題解決のために、自己の意見を表明しかつ他者と協働して学びあい、見識を高めようとする。</li> </ul>           |              |
| 5 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて   |  |   |              |
| 主体的な学び  | 対話的な学び   | 深い学び  |              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題の把握の上に、その解決への見通しをもたせる。(1~3時間目)</li> <li>・学習内容を身近に感じさせつつ、生徒の興味を喚起する魅力的な導入を設定する。</li> <li>・授業終わりのリフレクションによって、その一時間の学習の成果を明確にし、自己の成長の確認と学習が足りない部分の把握に役立てる。</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒間での対話、教員との対話といった場を設定し、自己の考えを上げ深めさせる。(1~3時間目)</li> <li>・資料の読み取りなどを通じて、教材との対話をしてほしい。漠然とした地理的な認識を、具体的に身近なものへと転換していきたい。</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ヨーロッパが抱える課題について主体的に思考し、判断したうえで自らの考えを表現できるようにする。(1~3時間目)</li> <li>○ヨーロッパが抱える課題への解決方法の思索を、日本・地域の課題解決の思索へと転移することができる。(4時間目)</li> </ul> |              |

| 6 単元の指導と評価の計画(全4時間) |                              |  |   |
|---------------------|------------------------------|--|---|
| 時間                  | 学習内容                         | 【評価の観点】<br>評価規準<br>【評価方法】  | 学習課題(■)と主な学習活動  |
|                     |                              |  | 主体的・対話的で深い学び(重点)  |
| 1                   | ヨーロッパ①<br>自然・キリスト教・歴<br>史的背景 | 【知識・技能】<br>ヨーロッパの自然環境・キリスト教・歴史的背景に関わる個<br>別の知識を理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>習得した個別の知識を概念化して地理的な特色とはなにか<br>について考えを深めている。<br>【リフレクションシート】                      | ■「ヨーロッパとは？」<br>○ヨーロッパの自然環境・キリスト教・歴史的背景についての知識<br>を習得し、ヨーロッパ的なものとはなにかについて考える。<br><br>主体的な学び      対話的な学び      深い学び  |
| 2                   | ヨーロッパ②<br>農業・食文化・工業          | 【知識・技能】<br>ヨーロッパの諸産業に関わる個別の知識を理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>習得した個別の知識を概念化して地理的な特色とはなにか<br>について考えを深めている。<br>【リフレクションシート】                                       | ■「ヨーロッパの産業の特色は？」<br>○ヨーロッパの諸産業やそれをもとに形成された文化に関わる個別<br>の知識を習得し、その特色とは何かについて考える。<br><br>主体的な学び      対話的な学び      深い学び  |
| 3                   | ヨーロッパ③<br>統合・課題              | 【思考・判断・表現】<br>ヨーロッパの課題に関わる個別の知識を理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>なぜイギリスはEU離脱を決定したのか、論理的に思考し、<br>ヨーロッパが抱える課題の解決に何が必要か考えを深めて<br>いる<br>【リフレクションシート】                 | ■「イギリスはなぜEUを離脱したのか？」<br>○イギリスのEU離脱問題をきっかけにヨーロッパが抱える課題につ<br>いて思索し、解決には何が求められているか考える。<br><br>主体的な学び      対話的な学び      深い学び   |
| 4                   | 単元のまとめ<br>と振り返り              | 【思考・判断・表現】<br>ヨーロッパの課題についての思考を身近な課題に転移する<br>ことができる。<br>【主体的に関わろうとする態度】<br>自らの課題としてとらえ、パフォーマンス課題に意欲的に取<br>り組むことができる。<br>【パフォーマンス評価】<br>お礼状とメッセージカードをつくらう。 | ■「(ヨーロッパの課題を踏まえ)あなたは文化的背景が異なる人と<br>どう付き合うべきか？」<br>○大船渡市の現状を知る。大船渡に住む外国人(水産実習生など)<br>のインタビュー映像を見る。4人グループで感想を発表し、ワーク<br>シートに個人で答える。<br>○パフォーマンス課題に取り組む。<br><br>主体的な学び      対話的な学び      深い学び |

#### イ パフォーマンス課題とルーブリック

- ・パフォーマンス課題(今回は諸事情により単元末のパフォーマンステストが実施できなかったため、大単元のまとめとして、夏季休業中の課題として下記を実施した。)

|   |
|---|
| <p>地理A 夏季課題 「旅行計画の策定」</p> <p>あなたは採用されたばかりの旅行会社の社員です。上司から、あらたに一人旅用の旅行プランを考えることを指示されました。上司からの細かな指示は、</p> <p>①6泊7日の旅行であること。</p> <p>②最低2つの国を回るが、そのうち1か国はヨーロッパの国であること。</p> <p>③旅の魅力がわかるしおりを添付すること</p> <p>④旅程表や旅行費内訳書を作り、実行可能であること。</p> <p>の4点でした。</p> <p>これまでの地理Aで学習した「ヨーロッパ」「世界の国々」の内容を踏まえて、魅力的な旅を提案しなさい。</p> |
|---|



・ループリック

地理A夏季課題ループリック 「ヨーロッパの旅」

| レベル | Performance の特徴   |
|-----|---|
| 5   | <p>・旅行計画書…旅のテーマが明確で魅力的であり、旅を作った目的もテーマと整合的かつ説得力があるものである。旅の見どころが複数・具体的に示され、訪問が計画されるすべての世界遺産の紹介も的確かつ詳細になされている。(思/5点)</p> <p>・旅程表…6泊7日すべての旅程が記載されている。移動手段が記入され所要時間・経由地などが詳細に書き込まれている。宿泊場所が明記されている。(資/5点)</p> <p>・旅行費内訳書…交通費、宿泊費共にすべての必要事項が記入されており、料金は具体的で実際の調べたものである。(資/5点)</p> <p>・しおり…写真や図版を多く用い、旅程・見どころ・世界遺産などが詳細に書き込まれ、その魅力が十分伝わるものである。独創的で説得的である。(思/5点)</p> <p><b>※4項目中、3項目以上が該当、もしくは合計点が18点以上</b></p> |
| 4   | <p>・旅行計画書…旅のテーマが明確である。旅の目的がテーマに沿ったものであり、旅の見どころが具体的に示され、訪問する世界遺産もすべて紹介されている。(思/4点)</p> <p>・旅程表…6泊7日すべての旅程が記載されている。移動手段が記入され、宿泊場所も記載されている。(資/4点)</p> <p>・旅行費内訳書…交通費、宿泊費共にすべての必要事項が記入されている。(資/4点)</p> <p>・しおり…写真や図版を用い、旅の要点を押さえたもので、その魅力が伝わるものである。(思/4点)</p> <p><b>※4項目中、3項目以上が該当、もしくは合計点が14点以上</b></p>  |
| 3   | <p>・旅行計画書…旅のテーマが示されている。旅の目的・見どころが示されている。訪問する世界遺産の一部が紹介されている。(思/3点)</p> <p>・旅程表…旅程が記載されている。移動手段か宿泊場所のどちらかが記載されている。(資/3点)</p> <p>・旅行費内訳書…交通費、宿泊費共の必要事項が記入されている。(資/3点)</p> <p>・しおり…旅の要点を押さえ、その魅力が伝わるものである。(思/3点)</p> <p><b>※4項目中、3項目以上が該当、もしくは合計点が10点以上</b></p>  |
| 2   | <p>・旅行計画書…「観光客」のレベルに達していない。(思/2点)</p> <p>・旅程表…「観光客」のレベルに達していない。(資/2点)</p> <p>・旅行費内訳書…「観光客」のレベルに達していない。(資/2点)</p> <p>・しおり…「観光客」のレベルに達していない。(思/2点)</p>  |
| 1   | <p>・提出した (1点)</p>   |

採点表

| 項目     | 評価                | 合計 | レベル                               |
|--------|-------------------|----|-----------------------------------|
| 旅行計画書  | 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 |    | 冒険者 旅行者<br>観光客 修学旅行生<br>はじめてのおつかい |
| 旅程表    | 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 |    |                                   |
| 旅行費内訳書 | 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 |    |                                   |
| しおり    | 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 |    |                                   |



# 旅行計画書

1 旅のテーマ : 世界文化遺産 ~ イタリア・スペイン ~

2 なぜこの旅を作ったか?

私は世界遺産の中でも自然遺産より文化遺産に興味を持っていて、中でも「サグラダファミリア」は1882年から今だに完成していないということもあり、特に歴史を感じられるものだと思います。「サグラダファミリア」について調べたいと思った。さらにベネチアは水路が多くあり、とても優雅で美しい印象を持っていたので「行ってみたい」と以前から持っていた。バチカン国はよくテレビで目にするし、国全体の世界遺産ということもあり行ってみたいと思っていた。そのためこの旅を作った。

3 この旅の見どころは?

ヨーロッパの中でも特に有名な世界遺産に行くことができ、イタリアとスペインとは近いので余裕を持って2つの国を見学することが出来る。

さらに海外なので治安や安全性も考えホテルは都市の中でも有名で評価の高いホテルを選んだので安心できる。

あと飛行機はすべて直行便を選んだので、めんどろな乗り換えも必要ない。

世界遺産周辺には多くショッピング街などもあるのでお土産に困らない。

4 旅で行く世界遺産の紹介

バチカン国は世界最小の国で、国全域が世界遺産に登録されている。町中どこを見ても美しい建造物が多く見て飽きないと思う。

ベネチアは「水の都」と呼ばれており多くの水路がある。水路のすぐ横に歴史的な建物が隣接している。優れた建造物に囲まれているので「世界で最も美しい広場」とされている。

サグラダファミリアは1882年から作成し2026年に完成されるといわれている「カウティ」が設計した美しい建造物である。

(イ) 旅程表

### 旅程表〔6泊7日〕

行先：イタリア(ヴェネツィア)・イギリス(ロンドン)

| 日次 | 月日    | 行程  | 宿泊・備考                     |
|----|-------|---|---------------------------|
| ①  | 8月12日 | 8:00 家 → 9:25 水戸駅 → 11:56 東京 → 12:30 羽田空港 → 19:30 ロマ空港              | 宿泊先<br>フォーシーズンホテル         |
| ②  | 8月13日 | 9:30 ホテル → 10:00 バチカン → 12:00 お昼 → 13:00 バチカン → 18:00 ホテル           | カペラティ<br>お昼(Doges Palace) |
| ③  | 8月14日 | 9:30 ホテル → 10:10 ヴェネツィア → 12:00 お昼 → 13:00 ヴェネツィア → 18:00 ホテル       | ネイリオン<br>お昼(Pontina)      |
| ④  | 8月15日 | ホテル → バス → ロマ空港 → 飛行機 → バルセロナ空港 → バス → ホテル                          | 宿泊先<br>エアホテルロゼリオン         |
| ⑤  | 8月16日 | 9:30 ホテル → 16:30 サグラダファミリア → 12:00 お昼 → 13:00 サグラダファミリア → 18:00 ホテル | カペラティ<br>お昼(エルスポンソス)      |
| ⑥  | 8月17日 | 9:30 ホテル → 10:00 グエル公園 → 12:00 お昼 → 14:00 フリカ → 18:00 ホテル           | カペラティ料理<br>お昼(カテドラルパドレ)   |
| ⑦  | 8月18日 | 9:00 ホテル → 10:00 バス → スパン空港 → 19:45 羽田空港 → 20:30 東京 → 23:00 家       | お昼(機内食)                   |
| 例  | 7月4日  | 6:00 横浜 → 9:09 横浜 → 11:57 東京 → 14:39 成田 → 18:12 千葉 → 20:12 千葉       | 千リーゼンホテル                  |

(ウ) 旅行費内訳書

### 旅行費内訳書

(A) 交通費

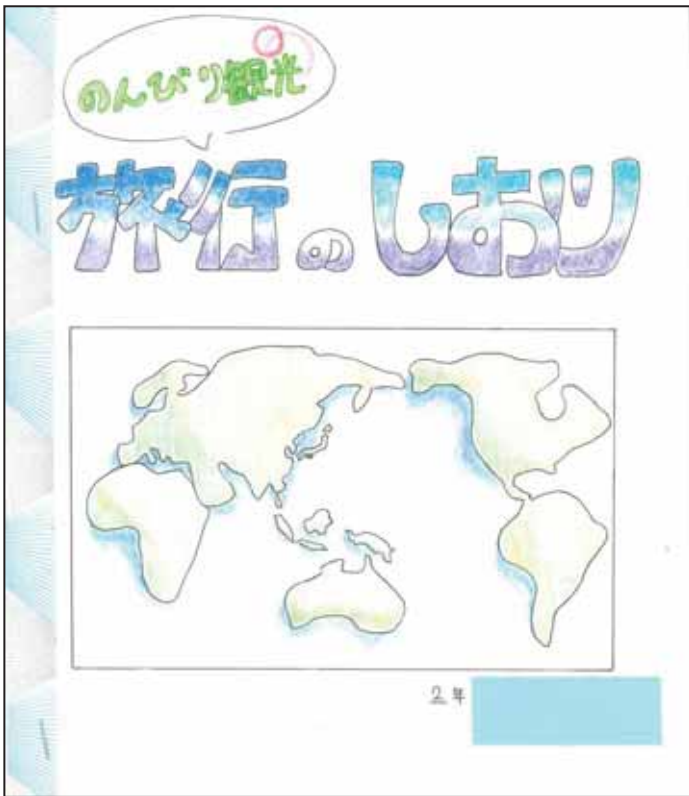
| 番号 | 種別        | 区間        | 料金       | 選定理由           |
|----|-----------|-----------|----------|----------------|
| 例  | 飛行機       | 東京～パリ     | 10万円     | 早く移動したので飛行機    |
|    | 飛行機       | 東京～ローマ    | ¥ 81,720 | 早く(早割)のため。     |
|    | "         | ローマ～スペイン  | ¥ 24,730 | なるべく早く移動したいため。 |
|    | "         | スペイン～東京   | ¥ 75,190 | 早く(早割)のため。     |
|    | 新幹線       | 東京駅～水戸江刺駅 | ¥ 13,650 | 早く移動したいため。     |
|    | "         | 水戸江刺駅～東京駅 | ¥ 13,650 | "              |
|    | 地下鉄・モノレール | 東京高尾～羽田空港 | ¥ 356    | 乗りやすさ、安く。      |
|    | "         | 羽田空港～東京高尾 | ¥ 356    | "              |

(B) 宿泊費

| 番号 | 宿泊地   | 施設名        | 料金        | 選定理由       |
|----|-------|------------|-----------|------------|
| 例  | パリ    | パリビジネスホテル  | 1万円       | とりあえず安いところ |
|    | ローマ   | フォーシーズンホテル | ¥ 101,580 | 治安のよい所     |
|    | バルセロナ | エアホテルロゼリオン | ¥ 90,948  | 安全性の高いところ  |
|    |       |            |           |            |
|    |       |            |           |            |
|    |       |            |           |            |

¥ 402,100

(エ) しおり



「ここは大陸性気候で、日中は暖かい、美しい四季がある。季節の違いは格別で、素晴らしい。冬は寒く、夏は暑い。」

1. ヨーロッパ

2. ヨーロッパは冬の間だけ寒い。服装を考えると、北海道より寒い。冬はスキーやソリで楽しむ。夏は避暑の地である。雨が多い。冬は雪が降り、冬は雪の景色が美しい。スキーやソリなどの冬季スポーツは人気。

3. ヨーロッパ

4. ヨーロッパは大陸性に位置しているため、典型的な大陸性気候で日本と同じように四季がある。また、夏の温度はそれほど高く、降水量は年間を通じて少ない。ヨーロッパは四季を通じて平均気温は22℃程度である。冬の平均気温は最低、1月2月の最低気温はマイナス10℃程度である。

世界遺産

ロンドン塔 (Tower of London)

ロンドンの首都の中心に位置する歴史的な建造物。11世紀にノルマン朝の征服者ウィリアム1世によって建てられ、中世の王室の居りかたであった。現在は「女王陛下の宮殿」(The Majesty's Royal Palace and Fortress) と呼ばれる。現在は儀礼的な役割と観光地として利用されている。

---

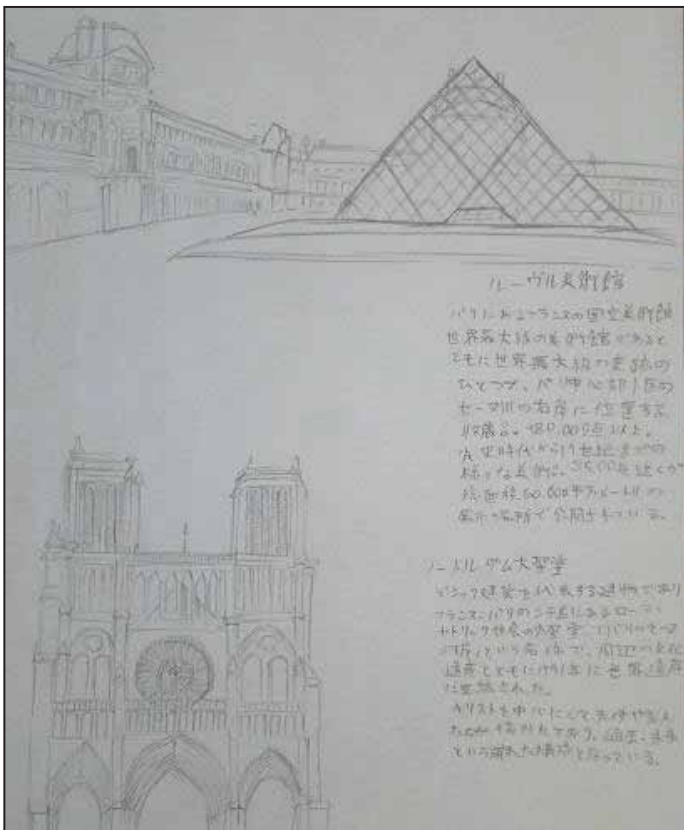
[[気候 12-7]] ロンドンは夏は暑く、冬は寒い。夏は25℃以上、冬は5℃以下。夏は暑く、冬は寒い。夏は25℃以上、冬は5℃以下。

---

[[食べ物 12-7]] 「Rock & Sole Place」はロンドンで有名な料理店。ロンドンで有名な料理店。ロンドンで有名な料理店。

「Rock & Sole Place」はロンドンで有名な料理店。ロンドンで有名な料理店。ロンドンで有名な料理店。

47 Endell Street, London, WC2H 9AT





(5) 岩手県立山田高等学校 泉 径宏 教諭

ア 単元構想シート (現代社会)

| 高等学校 現代社会 単元構想シート  |  |  | 学校名  | 岩手県立山田高等学校   |
|--|--|--|------|--|
| 第2章 日本国憲法と民主政治<br>2 国民主権と基本的人権   |  |  | 対象学級 | 2年A組   |
|  |  |  | 生徒数  | 13名  |
|  |  |  | 担当者  | 泉 径宏   |
| 1 単元の目標(何ができるようになるか)   |  |  |      |  |
| 知識・技能  |  | 思考力・判断力・表現力等   |      | 学びに向かう力等   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法成立の歴史的背景を理解しながら条文を概観するとともに、基礎的な判例に対する知識を得ること。(知識)</li> <li>・日本国憲法の条文を適切に読み取り、法律や判例との連関を説明すること。(技能)</li> </ul> |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の規定が、人権保障とどのように関連しているのかを考察し、自らの考えを表現できること。</li> </ul>                           |      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・立憲主義が、どのように人権保障につながっているのかを理解した上で、その歴史や本質に迫ろうと積極的に問いを生み出そうとする意欲を持つこと。</li> </ul>  |
| 2 単元で働かせる「見方・考え方」  |  |  |      |  |
| 日本国憲法と基本的人権の尊重について、倫理、政治、法、経済、歴史などに関わる多様な視点から捉え、よりよい社会の構築に向けての課題解決に資する概念を関連づけ、あらたな課題を見いださせる。   |  |  |      |  |
| 3 単元における「学習課題」と「期待する姿(ゴール像)」   |  |  |      |  |
| 【単元の学習課題】<br>「民衆支配」が語源の「デモクラシー」、すなわち民主主義のもとで、多数意見をもとに政治が行われているはずなのに、なぜ憲法の枠の中で政治が行われなければならないのだろうか。  |  |  |      |  |
| 【期待する姿(ゴール像)】<br>憲法によって権力を制限する立憲主義によって、国民の自由や権利が保障されていることを、条文や判例をあげながら説明することができる。  |  |  |      |  |
| 4 単元の評価規準  |  |  |      |  |
| 知識・技能  |  | 思考・判断・表現   |      | 主体的に学習に取り組む態度  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の成立、民主主義と立憲主義、重要判例などを理解している。(知識)</li> <li>・条文を適切に読み取り、重要判例においてどのように裁判所が判断したのかを示すことができる。(技能)</li> </ul>        |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法を多面的・多角的に考察し、どのような形で国民の人権保障がなされているのかを実際の事例をもとに表現することができる。</li> </ul>            |      | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本国憲法の条文を参照するだけでなく、主体的に歴史的背景や判例を学ぼうとするとともに、新たな問いを生み出す意欲をもつ。</li> </ul>  |
| 5 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて  |  |  |      |  |
| 主体的な学び   |  | 対話的な学び   |      | 深い学び   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題の把握し、解決への見通しをもつ。(1時間目)</li> <li>・単元を通じた学習過程の中での動機付けや方向付け</li> <li>・学習内容・活動に応じた振り返りの場面を設定し、生徒の表現を促す</li> </ul>  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒同士の協働や、教員との対話、先哲の考え方を手掛かりに思考し、自己の考えを広げ深める</li> <li>・深い学びとの関わりに留意する。(毎時)</li> </ul> |      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会的事象の歴史的な見方・考え方をを用いた考察や説明等を学習活動に組み込んだ、課題を追究したり解決したりする活動を行う。(1~4時間目)</li> <li>○社会の中で汎用的に使うことのできる概念等に関わる知識の獲得が可能な授業を設計する。(5時間目)</li> <li>・良質な問い(課題)の設定</li> <li>・諸資料をもとにした多面的・多角的な考察</li> <li>・課題の解決に向けた構想と論理的な説明</li> <li>・社会参画を視野に入れた議論</li> <li>・ALの手法に基づく「教え合い」による確実な知識の定着</li> </ul> |

| 6 単元の指導と評価の計画 |                                |  |   |
|---------------|--------------------------------|--|---|
| 時間            | 学習内容                           | 【評価の観点】<br>評価規準<br>[評価方法]  | 学習課題(■)と主な学習活動(○)   |
|               |                                |  | 主体的・対話的で深い学び(重点)  |
| 1             | 日本国憲法と三つの原理                    | 【知識・技能】<br>明治憲法と日本国憲法の相違を理解し、日本国憲法の特徴を理解する。<br>[ペアワーク]   | ■「そもそも、憲法はなぜ必要なのか」<br>○大日本帝国憲法(明治憲法)と日本国憲法を比較し、「法律の留保」の問題点を考える。<br><br>主体的な学び   対話的な学び   深い学び   |
| 2             | 基本的人権の保障(1)～法の下での平等、自由権的基本権～   | 【思考・判断・表現】<br>ポジティブ・アクションの実例をもとに、社会的弱者に対する積極的是正措置の是非を考え、自らの意見を発表することができる。<br>[ディベート・ワークシート等への記述] | ■「マイノリティへの優先枠を設けることは差別にあたるのだろうか」<br>○法の下での平等を意味を理解し、実質的平等と形式的平等の相違点を説明できる。<br><br>主体的な学び   対話的な学び   深い学び                              |
| 3             | 基本的人権の保障(2)～社会権的基本権、参政権、公共の福祉～ | 【主体的に関わろうとする態度】<br>資本家と労働者、政府に分かれたロールプレイをもとに、社会権の意義と成立の歴史を考察できる。<br>[ロールプレイ・ペアワーク]               | ■「国家からの自由だけでは不十分なのか？」<br>○「国家からの自由」に加え、「国家による自由」が必要とされた歴史的背景を考察し、その意義を説明できる。<br>★パフォーマンス・テストの課題提示<br><br>主体的な学び   対話的な学び   深い学び       |
| 4             | 新しい人権                          | 【主体的に関わろうとする態度】<br>「新しい人権」が、人権保障の拡大にどのように寄与しているのかを説明できる。<br>[グループワーク]                            | ■「日本国憲法だけでは不十分？」<br>○「新しい人権」という概念が生まれた背景を理解し、判例とともに人権保障の広がりをとらえる。<br><br>主体的な学び   対話的な学び   深い学び                                       |
| 5             | パフォーマンス・テスト                    | 【主体的に関わろうとする態度】<br>新聞記事の内容をもとに、立憲主義の在り方を理解するとともに、新たな問いを生み出し、学びを深めることができる。<br>[パフォーマンス・テストの内容]    | ■「日本国憲法で国民の自由や権利がどのように保障されているのか」<br>○中国の人権抑圧が特集された新聞記事を参照し、日本国憲法のどの条文に抵触するかを考察することに加え、新たな問いを生み出して、発表する。<br><br>主体的な学び   対話的な学び   深い学び |

## イ パフォーマンス課題とルーブリック

### ・パフォーマンス課題

|   |
|---|
| <p>「立憲主義」とは何か～海外の実情から～</p> <p>あなたが新聞を読んでいたところ、海外の実情を伝える新聞記事(別紙)に目が留まった。ここでは、現在もなお、人権を侵害するような状況が存在することが報じられていた。</p> <p>【1】記事中の人権侵害の実情を指摘しなさい。</p> <p>【2】記事にあるような人権侵害を防ぐために、日本国憲法にはどのような規定があるかを指摘しなさい。</p> <p>【3】記事を読んだ人から、「日本でもこのようなことがおこるのか」と聞かれたとする。【2】で明記した内容をもとに、返答しなさい。</p> <p>※現代社会の授業で日本国憲法を学んだ内容を踏まえて、「立憲主義」の見方・考え方をもとにしながから記述・発表すること。</p> |
|---|



・ルーブリック

観点のうち「思考・判断・表現」を評価するものとして設定

|      |  |
|------|--|
| 評価規準 | ① 人権侵害の行為を、適切に指摘し説明している。<br>② 指摘した人権侵害を防ぐ日本国憲法の規定を指摘し説明している。<br>③ 「返答」が明確である。<br>④ 「立憲主義」の考え方を生かしている |
| 5 ※A | 3点を満たし、「立憲主義」の見方・考え方も十分に生かして、他者に共感的に説明している   |
| 4    | 3点を満たし、「立憲主義」の見方・考え方も十分に生かして説明している。  |
| 3 ※B | 3点を満たし、「立憲主義」の見方・考え方も生かして説明している。   |
| 2    | 3点を満たしている。   |
| 1 ※C | 3点を満たしていない。  |

※下位の概念を優先する

ウ 生徒発表事例（発表の内容）

一つめは、資料1より○段落目の○行目から。まず、警察が拷問のような取り調べをしている。この資料には「警察の取り調べは厳しかった。約一坪の部屋で20時間」「眠気に襲われると大声で怒鳴られた」とか、「サインを求めた」とか書いてあり、これは日本国憲法の36条の「公務員による拷問および残虐な刑罰」に違反すると思う。



二つめは、資料2の○段落の○行目。書き込みの閲覧について。中国の国家というか公務員のような組織がやっていたので、21条の「検閲はしてはならない」に触れると思う。

日本では憲法で権力を規制しているので、どちらもちよっと考えられないと思う。疑問に思ったのは、なぜそうまでして「表現」の取り締まりをするのだろうかということ。

資料1の○段落○○行目について、「顔見知りの人だと思ってドアを開けると、制服姿の警官8人がなだれ込んできた」という所は、第35条「令状なしの搜索」の行為になると思う。

もう一つは資料2の○段落の○行目の「顔を殴られたり、髪をつかまれ頭を壁にぶつけられたりした」ことは暴行行為であり、第36条の「拷問および残虐刑の禁止」に違反している。日本ではどちらも憲法で規定していることなので、基本的にはあり得ないことで、この二つから中国政府または警察は人権をどのように考えているのかと思った。



(6) 岩手県立福岡高等学校 外山 えり子 教諭

ア 単元構想シート (日本史B)

| 高等学校日本史B単元構想シート  |  |   | 学校名 | 岩手県立福岡高等学校 |
|--|--|---|-----|------------|
| 第3章 貴族政治と国風文化<br>1 摂関政治<br>2 国風文化<br>3 地方政治の展開と武士  | 対象学級   | 2年 文系   |     |            |
|  | 生徒数  | 45名   |     |            |
|  | 担当者  | 外山 えり子  |     |            |
| 1 単元の目標(何ができるようになるか)   |  |   |     |            |
| 知識・技能  | 思考力・判断力・表現力等   | 学びに向かう力等  |     |            |
| ①摂関政治が可能になった背景としての他氏排斥と外戚政策を理解すること。(知識)<br>②藤原氏の台頭を支えた経済的基盤やそれに伴う地方政治の変化を理解すること。(知識)<br>③摂関政治や地方政治の展開によって生み出された国風文化を理解すること。(知識)<br>④諸資料から情報を効果的に読み取り、まとめることができること。(技能) | 摂関政治やそれに伴う地方政治の展開、当時の国風文化を総合して考察し、平安時代がどのような時代であったか表現すること。   | 事象の複雑な関連を整理しながら、主体的に調べ、意欲的に課題を追究すること。   |     |            |
| 2 単元で働かせる「見方・考え方」  |  |   |     |            |
| 平安]時代の特色を、政治的・経済的・文化的背景等や歴史の推移に着目して捉え、事象の因果関係を関連付けて統合的に捉えること。  |  |   |     |            |
| 3 単元における「学習課題」と「期待する姿(ゴール像)」   |  |   |     |            |
| 【単元の学習課題】  |  |   |     |            |
| 1 摂関政治がなぜできるようになったか<br>3 藤原北家が強力な権力を手にできた社会的・経済的背景は何か<br>2 国風文化の意義とは何か   |  |   |     |            |
| 【期待する姿(ゴール像)】  |  |   |     |            |
| 摂関政治やそれに伴う地方政治の展開、当時の国風文化を総合して人の営みについて考察し、平安時代がどのような時代であったか自分の言葉で表現できる   |  |   |     |            |
| 4 単元の評価規準  |  |   |     |            |
| 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |     |            |
| ①摂関政治が可能になった背景としての他氏排斥と外戚政策を理解している。(知識)<br>②藤原氏の台頭を支えた経済的基盤やそれに伴う地方政治の変化を理解している。(知識)<br>③摂関政治や地方政治の展開によって生み出された国風文化を理解している。(知識)<br>④諸資料から情報を効果的に読み取り、まとめている。(技能)       | 摂関政治やそれに伴う地方政治の展開、当時の国風文化を総合して考察し、平安時代がどのような時代であったか表現している。   | 事象の複雑な関連を整理しながら、主体的に調べ、意欲的に課題を追究している。   |     |            |
| 5 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて  |  |   |     |            |
| 主体的な学び   | 対話的な学び   | 深い学び  |     |            |
| ○学習課題の把握し、解決への見通しをもつ。(1、4、7時間目)<br>・単元を通じた学習過程の中での動機付けや方向付け<br>・学習内容・活動に応じた振り返りの場面を設定し、生徒の表現を促す  | ○学習課題に対するキーワードを10個選ぶことを通じて、生徒同士の協働や、教員との対話、先哲の考え方を手掛かりに思考し、課題に正対する(2、5、8時間目)<br>○ 学習課題に対する説明を他者に伝えることを意識して行う(2、5、8時間目) | ○学んだことをもとに問題を出し合うなど、学習内容の定着を図る(毎時)<br>○学ぶ過程で質問したり、学んだことを自身の言葉にすることで理解を深める(毎時) |     |            |

| 6 単元の指導と評価の計画(全 時間) |           |  |   |
|---------------------|-----------|--|---|
| 時間                  | 学習内容      | 【評価の観点】<br>評価規準<br>[評価方法]  | 学習課題(■)と主な学習活動(○)   |
|                     |           |  | 主体的・対話的で深い学び(重点)  |
| 1                   |           | 【主体的に関わろうとする態度】<br>課題を把握し、解決に向けて意欲的に探究しようとしている。<br><br>[観察]  | ■「藤原氏が摂関政治をできたのはなぜか」<br>○ 単元全体の見直しをもつ<br>○ 単元のおおまかな学習内容を俯瞰する                              |
|                     |           |  | 主体的な学び   対話的な学び   深い学び  |
| 2                   | 1 摂関政治    | 【知識・技能】<br>教科書や資料を読み取り、情報を整理し適切にまとめている。<br><br>[観察]  | ■「藤原氏が摂関政治をできたのはなぜか」<br>○ 疑問を解決しながら学習内容を把握する<br>○ 説明に必要なキーワードを選ぶ<br>○ 説明に練習を通して全体像を把握する   |
|                     |           |  | 主体的な学び   対話的な学び   深い学び  |
| 3                   |           | 【思考・判断・表現】<br>課題に対して、propose/reason/example/propose の段階を踏んでまとめている。<br><br>[ワークシートへの記述]                     | ■「藤原氏が摂関政治をできたのはなぜか」<br>○ 他者に課題に対する結論を説明する、聞く<br>○ 問題の出し合いを通じて自身の理解を深める<br>○ 自分自身の言葉でまとめる |
|                     |           |  | 主体的な学び   対話的な学び   深い学び  |
| 4                   |           | 【主体的に関わろうとする態度】<br>課題を把握し、解決に向けて意欲的に探究しようとしている。<br><br>[観察]  | ■「寄進地系荘園とは何か」<br>○ 小単元の見直しをもつ<br>○ 登場する人々の立場とそれに基づく行動を把握する                                |
|                     |           |  | 主体的な学び   対話的な学び   深い学び  |
| 5                   | 3 地方政治の展開 | 【知識・技能】<br>教科書や資料を読み取り、情報を整理し適切にまとめている。<br><br>[観察]  | ■「寄進地系荘園とは何か」<br>○ 異なる立場とそれに基づく行動の説明を聞き、メモを取りながら把握する<br>○ 問題の出し合いで理解を深める                  |
|                     |           |  | 主体的な学び   対話的な学び   深い学び  |
| 6                   |           | 【思考・判断・表現】<br>課題に対して、propose/reason/example/propose の段階を踏んでまとめている。<br><br>[ワークシートへの記述]                     | ■「寄進地系荘園とは何か」<br>○ 時代背景や異なる立場から寄進地系荘園の成り立ちや影響について考察する                                     |
|                     |           |  | 主体的な学び   対話的な学び   深い学び  |
| 7                   |           | 【主体的に関わろうとする態度】<br>課題を把握し、解決に向けて意欲的に探究しようとしている。<br><br>[観察]  | ■「国風文化の意義とは」<br>○ 国風文化の背景を把握する<br>○ それぞれの分野について説明できるよう準備する                                |
|                     |           |  | 主体的な学び   対話的な学び   深い学び  |
| 8                   | 2 国風文化    | 【思考・判断・表現】<br>課題に対して、各分野からアプローチし、概念としてまとめている。<br><br>[ワークシートへの記述]  | ■「国風文化の意義とは」<br>○ それぞれの分野からみた国風文化について説明する   |
|                     |           |  | 主体的な学び   対話的な学び   深い学び  |
| 9                   |           | 【思考・判断・表現】<br>課題に対して、propose/reason/example/propose の段階を踏んでまとめ、国風文化の意義について他者に共感的に伝えている。<br><br>[パフォーマンス評価] | ■「国風文化の意義とは」<br>○ 摂関政治や地方政治の展開などの時代背景を踏まえ、国風文化の意義を多面的・多角的に考察し、概念としての知識の定着を図る              |
|                     |           |  | 主体的な学び   対話的な学び   深い学び  |

イ パフォーマンス課題とルーブリック

- ・パフォーマンス課題

「国風文化の意義とは？」

～教育実習生になって高校2年生にプレゼンテーション用シートを使って説明せよ。～

あなたは高校の日本史教員を目指す、大学4年生です。この度、母校に教育実習生としてやってきて、高校2年生の日本史を担当することになりました。高校2年生はこの冬に修学旅行が控えていることもあり、日本史担当教諭からは生徒たちに、国風文化の意味理解にとどまらず、意義までを理解させること」と指示を受けました。

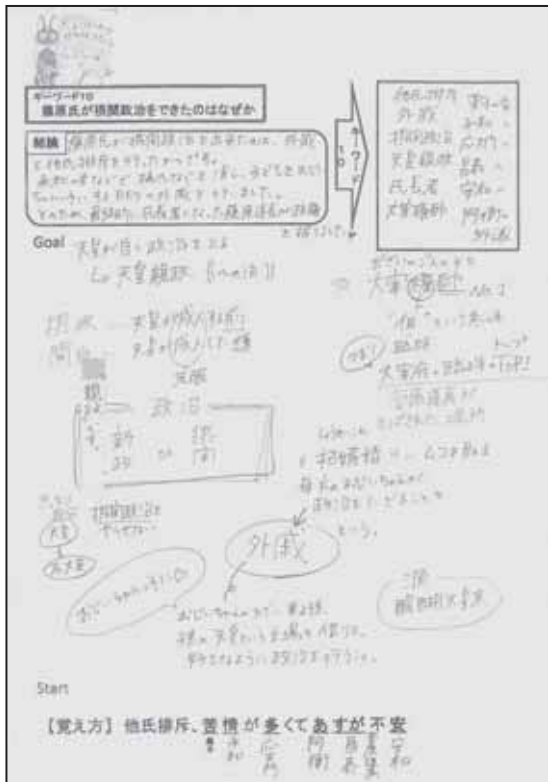
そのために通常の板書ではなく、プレゼンテーション用のシートを使って説明することにしました。生徒が、国風文化の意義について理解でき、修学旅行にも役立つようなプレゼンテーションにしましょう。

- ・ルーブリック

観点のうち「思考・判断・表現」を評価するものとして設定

| 評価規準 | 国風文化の意義について、 <u>歴史的経緯</u> を踏まえ、 <u>実例</u> をあげて説明している。 |
|------|---|
| 5 ※A | 下線部を満たし、極めて効果的に説明している。                                |
| 4    | 下線部を満たし、効果的に説明している。                                   |
| 3 ※B | 下線部を満たし、説明している。                                       |
| 2    | 下線部を満たしているが、内容的に不十分な説明である。                            |
| 1 ※C | 下線部を満たしていない   |

ウ 生徒作成事例



2 重点単元②資料

(1) 宮古市立宮古西中学校 吉田 優哉 教諭

ア 単元構想シート (公民的分野)

| 中学校社会科単元構想シート   |   | 学校名  | 宮古市立宮古西中学校        |
|---|---|--|-------------------|
| 生産と労働   |   | 対象学級   | 3年B組              |
|   |   | 生徒数  | 男 15名、女 14名、計 29名 |
|   |   | 担当者  | 吉田 優哉             |
| <b>1 単元の目標(何ができるようになるか)</b>   |   |  |                   |
| 知識・技能   | 思考力・判断力・表現力等  | 学びに向かう力等   |                   |
| 課題を追究したり解決したりする活動を通して、<br>・企業の働きや株式会社の仕組み、現代企業の特徴と課題<br>・労働の意義<br>・労働組合の意義や労働条件の改善<br>非正規労働者や外国人労働者の増加などの雇用に関する課題について理解できるようにする。  | 課題を追究したり解決したりする活動を通して、<br>・個人や企業の経済活動における役割と責任<br>・社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、多面的・多角的に考察し、表現することができるようにする。  | ・企業の働きや株式会社の仕組み、現代企業の特徴と課題<br>・労働の意義<br>・労働組合の意義や労働条件の改善、非正規労働者や外国人労働者の増加などの雇用に関する課題について、課題を主体的に追及・解決しようとする態度を養うようにする。   |                   |
| <b>2 単元で働かせる「見方・考え方」</b>  |   |  |                   |
| 企業の働きや株式会社の仕組み、現代企業の特徴と課題、労働の意義、労働組合の意義や労働条件の改善、非正規労働者外国人労働者の増加などのこのように関する課題について、   | 対立と合意、効率と公正、分業と交換などに着目して捉え、   | 課題解決に向けて選択・判断し、考察・構想に向かうこと   |                   |
| <b>3 単元における「学習課題」と「期待する姿」</b>   |   |  |                   |
| 【学習課題】働きやすい国・まちになるためには今後どうすればよいか、自分の考えを説明しよう！<br>【パフォーマンス課題】「なぜブラック企業が生まれ、どうしてなくなるのか」   |   |  |                   |
| 【期待する姿】<br>経営者は利潤を得ることを第一の目的とするため、より多くの利潤を得るために立場が弱くなりやすい労働者が犠牲になりやすい。誰もが働きやすい国にするために、行政は労働基準法を守れていない企業を公表したり営業停止にしたりするといった。また、労働者はブラック企業のような労働条件を守れていない職場で耐えるのではなく、SNS等で勤務状況を発信したり、労働組合の運動を活発にし、自分達の労働条件改善のために動くことが大切だと思う。また経営者は企業の社会的責任を守るために、もっと労働者の雇用の確保にも目を向けながら社会をする必要があると思う。 |   |  |                   |
| <b>4 単元の評価規準</b>  |   |  |                   |
| 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |                   |
| ・資本主義経済の仕組み、現代企業の特徴と課題について理解するとともに、その知識を身につけている。<br>・労働組合の意義や労働条件の改善、非正規労働者や外国人労働者の増加などの雇用に関する課題について理解し、その知識を身につけている。<br>・企業や雇用に関する課題について、諸資料から情報を収集・選択し、適切にまとめている。   | ・企業の経済活動について様々な立場から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>・企業や雇用に関する課題について、様々な資料を基に多面的・多角的に考察し、その解決策について自分の意見を分かりやすく説明している。  | ・企業の生産活動や社会的責任について関心を持っている。<br>・現代日本の労働条件の改善の仕方について、学習内容を基に意欲的に振り返っている。  |                   |
| <b>5 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて</b>  |   |  |                   |
| 主体的な学び  | 対話的な学び  | 深い学び   |                   |
| ・単元の学習課題、パフォーマンス課題の意図を明確に理解させ、意欲的に追究できるようにする。(0時間目)<br>・現代日本の労働条件の改善方法について意欲的に追究できるようこれまでの学習内容を想起させる。(6時間目)   | ・資本主義経済のもので、日本の企業がどのように生産活動を行っているのか、資料を基に調べ、自分の考えをノートにまとめさせる。また、その内容について交流し理解を深めさせる。(1時間目)<br>・株式会社がなぜ大規模な会社として運営できるのか、その仕組みに着目して調べ自分の考えをノートにまとめさせる。また、その内容について交流し理解を深めさせる。(2時間目)<br>・現在の労働実態の下、労働者にはどのような権利が認められているのかを資料を基に調べ、ノートにまとめさせる。またその内容について考えを交流させる。(3時間目)<br>・現代日本の労働や雇用には、どのような特徴と課題があるのか資料を基に考察し分かったことをノートにまとめる。またその内容について考えを交流させる。(4時間目) | ・単元課題、パフォーマンス課題の解決に取り組めるように4時間目までの学習を振り返り、労働者、使用者、行政の三者の視点から労働条件の方策について考えをレポートにまとめさせる。また、その内容について交流する場面を設け、考えを深める。(5時間目) |                   |



6 単元の指導と評価の計画(全5. 5時間)

| 時間 | 学習内容<br>学習過程   | 【評価の観点】<br>評価規準<br>【評価方法】  | 学習課題(■)と主な学習活動(○)  |        |        |      |
|----|--|--|--|--------|--------|------|
|    |  |  | 主体的・対話的で深い学び(重点)   |        |        |      |
| 0  | ※前単元のまとめ<br>の時間の後半<br><br>単元の学習課題、<br>パフォーマンス課題<br>の設定 | 【主体的に学習に取り組む態度】<br>単元の学習課題、パフォーマンス課題について関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。<br><br>【評価方法】<br>ノートへの記述、発表・交流の様子  | ○長時間労働や過労死等、最近の労働者を取り巻く問題について確認し、単元の学習への関心を高める。<br>○単元課題、パフォーマンス課題を設定し、単元の学習活動に見通しをもつ。<br>■(単元課題)「働きやすい国・まちになっていくためにどのような取組が必要か」<br>■(パフォーマンス課題)「なぜブラック企業が生まれなくなるのか」 | 主体的な学び | 対話的な学び | 深い学び |
| 1  | 資本主義経済と企業<br>・企業、資本主義経済、公企業、私企業、大企業、中小企業               | 【知識・技能】<br>資本主義経済のもとで、日本の企業がどのように生産活動を行っているのか、資料から必要な情報を収集しまとめている。<br><br>【評価方法】<br>ノートへの記述  | ■「資本主義経済の中で日本の企業はどのように活動しているのか」<br>○日本の企業が生産活動の様子について調べ、大まかな特徴についてノートにまとめる。<br>○日本の企業が生産活動の様子について、調べて分かったことについて交流し理解を確かなものにする。                                       | 主体的な学び | 対話的な学び | 深い学び |
| 2  | 株式会社の仕組みと企業の社会的責任<br>・株式会社、株式、株主、配当、株主総会、企業の社会的責任      | 【思考力・判断力・表現力等】<br>株式会社はなぜ大規模な会社として運営できるのか考察し、その特徴について説明している。<br><br>【評価方法】<br>ノートへの記述、発表・交流の様子   | ■「株式会社はどのような仕組みで運営されているのか」<br>○株式会社がなぜ大規模な会社として運営できるのか、その仕組みに着目して資料を基に調べノートにまとめる。<br>○株式会社の特徴について、調べて分かったことについて交流し理解を確かなものにする。                                       | 主体的な学び | 対話的な学び | 深い学び |
| 3  | 労働の意義と労働者の権利<br>・労働組合、労働基準法、労働組合法、労働関係調整法、ワーク・ライフ・バランス | 【知識・技能】<br>現在の労働実態のもと、労働者に認められている権利について理解し、その知識を身につけている。<br><br>【評価方法】<br>ノートへの記述  | ■「労働の実態や、労働者の権利はどのようにになっているのか」<br>○労働者にはどのような権利が認められているのか、資料を基に調べ、ノートにまとめる。<br>○労働者の権利について、調べて分かったことについて交流し理解を確かなものにする。  | 主体的な学び | 対話的な学び | 深い学び |
| 4  | 働きやすい職場を築くために<br>・非正規労働者、外国人労働者                        | 【思考力・判断力・表現力等】<br>日本の労働や雇用には、どのような特色と課題があるのかを考察し、説明している。<br><br>【評価方法】<br>ノートへの記述、発表・交流の様子   | ■「働く環境は、現在どのような状況なのか」<br>○現代日本の労働や雇用には、どのような特色と課題があるのか資料を基に分かったことをノートにまとめる。<br>○労働や雇用の状況について、調べて分かったことについて交流し理解を深める。   | 主体的な学び | 対話的な学び | 深い学び |
| 5  | 単元の学習課題、パフォーマンス課題の解決                                   | 【主体的に学習に関わろうとする態度】<br>現代日本の労働条件の改善の仕方について、これまでの学習を基に意欲的に解決しようとしている。<br>【思考・判断・表現力等】<br>現代日本の労働条件の改善の仕方について、自分の考えをレポートにまとめ、適切に表現している。<br><br>【評価方法】<br>レポートの記述内容、発表・交流の様子 | ■「ブラック企業をなくすためには、どのようなことをすればよいのだろうか」<br>○これまでの学習を基に、学習課題についてまとめる。<br>○全体で相互に意見交流をし、理解を深める。   | 主体的な学び | 対話的な学び | 深い学び |

イ パフォーマンス課題とルーブリック

- ・パフォーマンス課題

**★【生産と労働】 パフォーマンス課題**  
**「働きやすい国・まちになるためには今後どうすればよいか、自分の考えを説明しよう！」**

私たちが暮らす宮古市は『森・川・海とひとが共生するやすらぎのまち』づくりを目指しています。市では、将来の宮古市のまちづくりを担い、さらに将来の日本を背負う中学生を対象に「日本の労働環境を考える会」を開くことにしました。あなたは、その会に宮古西中学校を代表して参加し、今後の日本や宮古市の労働環境の未来像について自分の考えをレポートにまとめ、参加メンバー（他校の代表生徒）に向けて発表します。

レポートには、経営者、労働者、行政(国・岩手県・宮古市)の三者から1つの立場を選び、「なぜブラック企業が生まれ、どうしてなくなるのか」原因・理由を説明した上で、労働条件の改善策や心身ともにやすらぎを感じられるような働きやすい国・まちになるためにはどうしたらよいか、自分の考えをまとめましょう。

参加メンバーに、「なるほどな・・・」と思わせることができるような発表を目指しましょう。

- ・ルーブリック

**■パフォーマンス課題「なぜ、ブラック企業がなくなるのか」《ルーブリック》**

| 評価規準<br>パフォーマンスの<br>達成度 | 「なぜ、ブラック企業が生まれ、なくなるのか」原因・理由を説明し、改善していくための方策について、自分の考えをレポートにまとめている。                               |
|-------------------------|--|
| <b>A</b><br>すばらしい       | 「なぜ、ブラック企業が生まれ、なくなるのか」原因・理由を説明した上で、労働条件の改善策や働きやすい国・まちにする方法について <u>労働者、使用者、行政の三者の立場</u> から説明している。 |
| <b>B</b><br>合格          | なぜ、ブラック企業が生まれ、なくなるのか自分の考えを説明した上で、労働環境を改善するための方法について、 <u>労働者、使用者それぞれの立場</u> から説明している。             |
| <b>C</b><br>もう一歩        | 自分の考えを説明できていない。  |

ウ 生徒作成事例

ブラック企業がなくなる原因について、まず労働者の立場から考えると、「長時間働くほどすばらしい」といった考え方を持つ人がいることだと思う。労働者は一人ひとりが弱い立場にあるので、経営者にさからえないし、いつクビにされるかもわからないので、たくさん働き、会社のためになるようにしているのだと思う。改善するためには、仕事を計画的に進めたり、休む時はしっかり休むようにすることが必要だと思う。経営者に対して、自分から意見を言う勇氣も大切だと思う。次に、経営者の立場から考えると利益を多くあげるため、労働者に低賃金で長時間労働することを求めてしまうのだと思う。しっかり残業代のつく仕事を選ぶことやこうした企業には就職しないようにすることが大切だと思う。

ブラック企業が生まれた原因は、少しでももうけたいけれど雇う人は増やしたくないという経営者の考え方にあると思います。逆に労働者は、生活していくため簡単には仕事を辞めることができず長時間・低賃金労働を受け入れてしまっている状況があると思う。それが過労死や過労による自殺等に繋がっている。働きやすい環境をつくっていくためには休日をしっかり確保し、残業にもしっかり制限を加えるなど労働者の立場に立った改善が必要だと思う。行政は、経営者と労働者の間に発生するトラブルを解決したり、防ぐための工夫に関わっていくことが必要だと思う。

(2) 岩手県立岩泉高等学校 古川 剣士 教諭

ア 単元構想シート (日本史B)

| 高等学校日本史B 単元構想シート   |   | 学校名  | 岩手県立岩泉高等学校       |
|--|---|--|------------------|
| 第4章 中世社会の成立<br>2 鎌倉幕府の成立   |   | 対象学級   | 2年Ⅲコース           |
|  |   | 生徒数  | 計22名             |
|  |   | 担当者  | 古川 剣士 (ふるかわ はやと) |
| 1 単元の目標(何ができるようになるか)   |   |  |                  |
| [知識・技能]  | [思考力・判断力・表現力等]  | [学びに向かう力・人間性等]   |                  |
| <p>・鎌倉幕府の成立について、歴史を構成する諸要素(本単元では、源頼朝や封建制度などの歴史的人物や諸事象)に着目しながら、総合的・統一的に理解し、概念として知識を整理する。(知識)</p> <p>・「5W1H1R」の考えに基づき、資史料の読解を通じて、因果関係や事象間の類似性や差異性を発見し、鎌倉幕府の成立についてまとめることができる。(技能)</p> | <p>・鎌倉幕府の成立の特徴や歴史的意義を、左記の〔知識・技能〕に係る概念等を活用して多面的かつ多面的・多視的に考察する。</p> <p>・対象とする歴史的事象が有する課題点について、「課題認識→課題探究→課題解決→課題発見」の流れに基づきながら、思考・判断・表現する。</p> | <p>・歴史的事象を、単なる過去の出来事や自分にとって無関係なこととして捉えず、現代社会が抱える諸課題や諸問題を解決する一つの糸口として歴史を捉え直し、自覚的に学びを実生活に生かしていくような姿勢を一人ひとりが確立する。</p> |                  |
| 2 単元で働かせる「見方・考え方」  |   |  |                  |
| 鎌倉幕府の成立について、時期や場所、推移などに着目して捉え、政治が抱える問題性や課題、難しさなどを因果関係を踏まえて関連付け、「課題化的認識」を深化させる。   |   |  |                  |
| 3 単元における「学習課題」と「期待する姿(ゴール像)」   |   |  |                  |
| 【単元の学習課題】  |   |  |                  |
| ・「あなたたちは、頼朝の政治を『どう』評価する？」  |   |  |                  |
| 【期待する姿(ゴール像)】  |   |  |                  |
| ・当時、どのような政治がなされていたのか、その構造を主体的に、自分事として考えることができる(これは、政治の仕組みにおける質的な違いはあるものの、「政治」を考えるうえでは現代の社会においても活用できる思考の在り方であると考えられるため、生徒一人ひとりに身につけさせたい)。   |   |  |                  |
| 4 単元の評価規準  |   |  |                  |
| 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |                  |
| <p>・鎌倉幕府の成立について、歴史を構成する諸要素(本単元では、源頼朝や封建制度などの歴史的人物や諸事象)に着目しながら、総合的・統一的に理解し、概念として知識を整理する。(知識)</p> <p>・「5W1H1R」の考えに基づき、資史料の読解を通じて、因果関係や事象間の類似性や差異性を発見し、鎌倉幕府の成立についてまとめることができる。(技能)</p> | <p>・鎌倉幕府の成立の特徴や歴史的意義を、左記の〔知識・技能〕に係る概念等を活用して多面的かつ多面的・多視的に考察する。</p> <p>・対象とする歴史的事象が有する課題点について、「課題認識→課題探究→課題解決→課題発見」の流れに基づきながら、思考・判断・表現する。</p> | <p>・歴史的事象を、単なる過去の出来事や自分にとって無関係なこととして捉えず、現代社会が抱える諸課題や諸問題を解決する一つの糸口として歴史を捉え直し、自覚的に学びを実生活に生かしていくような姿勢を一人ひとりが確立する。</p> |                  |

| 6 単元の指導と評価の計画 |                                |  |  |
|---------------|--------------------------------|--|--|
| 時間            | 学習過程                           | 【評価の観点】<br>評価規準<br>[評価方法]  | 学習課題(■)と主な学習活動(○)・その他(★)   |
|               |                                |  | 主体的・対話的で深い学び(重点)   |
| 1             | 源平の争乱                          | 【知識・技能】<br>・源氏と平氏が戦った理由やその過程などの知識を身に付け、事象間の関係を明確にしながらか概念化している。<br>[レスポンスカード]   | ■「源平の争乱の勝敗を分けた最大の要因を探れ！」<br>○源氏と平氏の対立がどのような影響や結果をもたらしたのかを、歴史的な事象を踏まえながら考察する。<br><br>主体的な学び      対話的な学び      深い学び   |
| 2             | 鎌倉幕府                           | 【思考・判断・表現】<br>・「課題解決シート」に基づきながら、幕府成立の背景やその実態に迫る。<br>[課題解決シートとレスポンスカード]   | ■「鎌倉幕府の成立年は『いいはこ(1185年)』?『いいくに(1192年)』?」<br>○近年の鎌倉幕府成立研究の動向や頼朝の政治思想(侍所・問注所・政所の設立に見られる開明的な思想)を踏まえながら、幕府の成立を段階的に、かつ「いかにして」成立したのかを説明する。<br><br>主体的な学び      対話的な学び      深い学び |
| 3             | 幕府と朝廷                          | 【主体的に関わろうとする態度】<br>・頼朝の政治構想を、当時生きていた人びとの気持ちになって主体的に評価する。<br>[レスポンスカード]   | ■「頼朝のマニフェストを『どう』評価するか？」<br>○頼朝の政治の特質について、従前の政治との差異性や類似性などを知り、鎌倉時代の政治の課題や問題を抽出する。<br><br>主体的な学び      対話的な学び      深い学び   |
| 4             | 単元のまとめ・振り返り<br>(パフォーマンス課題への準備) | 【思考・判断・表現】<br>・「源平の争乱」から「幕府と朝廷」の学習内容を軸に、頼朝が幕府を運営するうえで、どのような「人事」を採ったのか、それを「人物相関図」にまとめながら、その政治の構造を他者に共感的に伝えることを目標とし、その準備にかかる。<br>[パフォーマンス評価] | ■「あなたたちは、頼朝の政治を『どう』評価する? ~頼朝の『人事』を、『人物相関図』にまとめながら~」<br>★パフォーマンス課題実践の準備に取り組む<br><br>主体的な学び      対話的な学び      深い学び  |
| 5             | パフォーマンス課題                      | 【思考・判断・表現】<br>・「源平の争乱」から「幕府と朝廷」の学習内容を軸に、頼朝が幕府を運営するうえで、どのような「人事」を採ったのか、それを「人物相関図」にまとめながら、その政治の構造を他者に共感的に伝える。<br>[パフォーマンス評価]                 | ■「あなたたちは、頼朝の政治を『どう』評価する? ~頼朝の『人事』を、『人物相関図』にまとめながら~」<br>★パフォーマンス課題の実践に取り組む<br><br>主体的な学び      対話的な学び      深い学び  |

## イ パフォーマンス課題とルーブリック

### ・パフォーマンス課題

後期中間考査前最後の授業(11月7日(火)実施)では、「御家人の目線に立って源頼朝の政治を評価してみよう」というテーマに基づきながら、グループワークを通じて、当時の政治の理解を深めていきました。

今回は、鎌倉時代を特集したTV番組で、コメントを求められるコメンテーターとして、視聴者の納得が得られるよう、頼朝の政治でベストなもの(大切なもの)を、具体的な根拠を挙げながら、「御家人」の目線ではなく、「現代人」の目線で評価し、自身の考えを論述しなさい。

・ルーブリック

観点のうち「思考・判断・表現」を評価するものとして設定

| 評価規準 | 事項を精選し、具体的な根拠を挙げながら、現代人の目線で評価している |
|------|-----------------------------------|
| 5    | 内容を効果的に精選・再構成し、自らの言葉で説明している。      |
| 4    | 内容を効果的に精選・再構成し、説明している。            |
| 3    | 内容を精選・再構成し、説明している。                |
| 2    | 内容の精選・再構成に不足がある。                  |
| 1    | 2におよばない。                          |

ウ 生徒作成事例

⑤ 頼朝の政治で大切なものは、封建制度である。御恩と奉公は現代の資本主義に通じるものがある。また、新恩給とは、成果を出す程褒美が与えられるという現代の雇用制度に近いものがあり、更には本給員安堵では財産の保証をしているとも考えられる。このように、封建制度では現代の社会との共通点が多く見られる。これは、封建制度が後世に大きな影響を与えていると考えられる。よって、頼朝の政治で大切なものは封建制度である。

⑥ 頼朝の政治の特長は「権力を分散した」といふことだ。これは現代でも同じように行われていることだ。頼朝は二時代から安定した政治活動を行えるように試行錯誤をした。侍所・政所・問注所に分けたわけではなく、中央や地方に守護・地頭を置いたのが効率的に政治を進めるためだ。様々の機関を分類した現代の「日本政治の仕組み」もそのおかげだ。これが大切だと思う。



(3) 岩手県立盛岡第三高等学校 高屋 恵理 教諭

ア 単元構想シート (倫理)

| 高等学校公民科(倫理) 単元構想  |   |  |
|---|---|--|
| 学校名   |   | 岩手県立盛岡第三高等学校   |
| 対象学級  |   | 3年1～3組(文系)   |
| 生徒数   |   | 計36名×3   |
| 担当者   |   | 高屋 恵理  |
| 第3章 国際社会に生きる日本人としての自覚<br>1 日本の風土と伝統   |   |  |
| 1 単元の目標(何ができるようになるか)  |   |  |
| 知識・技能   | 思考力・判断力・表現力等  | 学びに向かう力等   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>古代日本人のものの考え方を通して、自己の人間観、自然観、宗教観を深めるために必要な概念や理論を理解すること。(知識)</li> <li>諸資料から、古代日本人のものの考え方に関わる情報を効果的に読み取り、まとめること。(技能)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>古代日本人のものの考え方をもとに、自己の人間観、自然観、宗教観を深めること。(思考力)</li> <li>古代日本人のものの考え方を踏まえ、人間と自然との関わりや死生観について論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすること。(思考力・判断力・表現力等)</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>主体性のある日本人としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に調べわかっていくとして課題を意欲的に追求すること。</li> <li>よりよい社会の実現を視野に現代の倫理的諸課題を見出し、その解決に向けて他者と協働して意欲的に考察・構想すること。</li> </ul>  |
| 2 単元で働かせる「見方・考え方」   |   |  |
| 古代日本人のものの考え方について、倫理・哲学・宗教等の多様な視点から捉え、主体性のある日本人としての在り方生き方について自覚を深めることに向けて、自然観、人間観、宗教観等に関連付ける。  |   |  |
| 3 単元における「学習課題(問い)」と「期待する姿(ゴール像)」  |   |  |
| 【単元の学習課題(問い)】<br>古代日本人のものの見方・考え方とは？主体的に生きる日本人の在り方とは？  |   |  |
| 【期待する姿(ゴール像)】<br>古代日本人が、日本特有の風土(自然気候や伝統)の中で様々な物事に対する受容的な態度を育みながら、(西洋に見られるような唯一絶対の神を畏怖したり自然界へ敵対したりする態度ではなく、)身近なあらゆるものに神々の存在を認め、それらと共生する考え方を形成したことを理解し、そこに見られる自然観、人間観、宗教観を踏まえて主体的に生きる日本人としての在り方生き方について思考・判断・表現する。 |   |  |
| 4 単元の評価規準   |   |  |
| 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>古代日本人のものの考え方を通して、自己の人間観、自然観、宗教観を深めるために必要な概念や理論を理解している。(知識)</li> <li>諸資料から、古代日本人のものの考え方に関わる情報を効果的に読み取り、まとめることができる。(技能)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>古代日本人のものの考え方をもとに、自己の人間観、自然観、宗教観を深めることができる。(思考力)</li> <li>古代日本人のものの考え方を踏まえ、人間と自然との関わりや死生観について論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。(思考力・判断力・表現力等)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>主体性のある日本人としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に調べわかっていくとして課題を意欲的に追求している。</li> <li>よりよい社会の実現を視野に現代の倫理的諸課題を見出し、その解決に向けて他者と協働して意欲的に考察・構想している。</li> </ul>  |
| 5 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて   |   |  |
| 主体的な学び  | 対話的な学び  | 深い学び   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題の把握の上に、その解決への見通しをもたせる。(1、2時間目)</li> <li>○課題追究の必然性を持たせる導入を設定する。</li> <li>○学習内容に応じて振り返りの場面の設定し、自己の成長を自覚(メタ認知)させる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒間での対話、教員や古代日本人の思想そのものとの対話といった場を設定し、自己の考えを広げ深めさせる。(1、2時間目)</li> <li>○学習内容に応じて様々な対象との対話の場を設定し、自己の考えの深まりを促す。</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○日本人の在り方生き方や社会のあり方についての見方・考え方を活用した考察や、説明、議論等の学習活動が組み込まれた、課題を追求したり解決したりする場を設定する。(3時間目)</li> <li>○社会的事象の特色や意味、理論などを含めた社会の中で汎用的に使うことのできる概念等に関わる知識を獲得するように学習を設計する。(毎時)</li> <li>○概念としての知識を活用して課題解決に向かうことを促す良質な問い(課題)を設定する。</li> </ul> |

| 6 単元の指導と評価の計画(全3時間) |             |  |   |
|---------------------|-------------|--|---|
| 時間                  | 学習内容        | 【評価の観点】<br>評価規準<br>[評価方法]  | 学習課題(■)と主な学習活動(○)   |
|                     |             |  | 主体的・対話的で深い学び(重点)  |
| 1                   | 日本の風土と伝統    | 【知識・技能】<br>古代日本人のものの考え方に関わる個別の知識を理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>習得した個別の知識をを概念化し、日本の風土と古代日本人のものの考え方との関わりについて考えを深めている。<br>[ワークシート]             | ■「日本の風土は日本人にどのような影響を与えたのか？」<br>○古代日本人のものの考え方に関わる個別の知識を習得し、それが日本のどのような風土の中で育まれたのかについて考える。                                  |
|                     |             |  | 主体的な学び   対話的な学び   深い学び  |
| 2                   | 日本の古代神話     | 【知識・技能】<br>日本の古代神話に関わる個別の知識を理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>習得した個別の知識をを概念化し、日本の古代神話の特徴について考えを深めている。<br>[ワークシート]                               | ■「日本の古代神話の特徴は何か？」<br>○日本の古代神話に関わる個別の知識を習得し、その特徴について考える。   |
|                     |             |  | 主体的な学び   対話的な学び   深い学び  |
| 3                   | 単元のまとめと振り返り | 【主体的に関わろうとする態度】<br>古代イスラエル人との比較を通して古代日本人の神観念に対する理解を深め、それをもとに日本人としての自己の生き方について思考し、自分自身の考え方を他者に有効に伝えることができる。<br>[ワークシート・発表に基づくパフォーマンス評価] | ■「古代日本人と他民族の神観念の違いは何か？」<br>○ペア内で古代日本人・古代イスラエル人のうちいずれかを担当し、その神観念とそれが形成された背景とを結び付けて発表する。その上で、両者の違いを参考に日本人としての自己の生き方について考える。 |
|                     |             |  | 主体的な学び   対話的な学び   深い学び  |

イ パフォーマンス課題とルーブリック

・パフォーマンス課題

古代日本人と他の民族との神概念の違いから見えてくる、

- ① 現代に通じる日本人のよさと、
- ② それが自分の生き方（考え方や行動）に反映されている、又は今後自分の生き方に生かしていきたいと考える部分について具体的に記せ。

・ルーブリック

|   | 思考・判断・表現  | 知識  | 技能   |
|---|---|---|--|
| A | 日本人の神観念について深く考察し、シートの欄「3」に適切な理由に基づいて現代の日本人のよさやそれが自分の生き方に反映されている部分に関する自分の意見を記している。     | シートの欄「2」～「3」で記した日本人のあり方や神観念が正しい理解に基づいている。 | 授業プリントや資料集から古代日本人の神観念を詳細に読み取り、シート内に自己の体験や現代の日本人の生き方等と結びつけてまとめている。  |
| B | 日本人の神観念についてある程度考察し、シートの欄「3」に自分なりの理由に基づいて現代の日本人のよさやそれが自分の生き方に反映されている部分に関する自分の意見を記している。 | シートの欄「2」～「3」で記した日本人のあり方や神観念の理解が一部適切でない。   | 授業プリントや資料集から古代日本人の神観念をある程度読み取り、シート内に自己の体験や現代の日本人の生き方等と結びつけてまとめている。 |
| C | 日本人の神観念についての思考が不十分であり、シートの欄「3」に記した現代の日本人のよさやそれが自分の生き方に反映されている部分に関する自分の意見の根拠が曖昧である     | シートの欄「2」～「3」で記した日本人のあり方や神観念の理解が適切でない。     | 授業プリントや資料集からの古代日本人の神観念の読み取りが不十分である                                 |

ウ 生徒作成事例（シートのうち3のみを掲載）

○ 現代日本人にも、古代日本人が受け継がれる「ミズム」の考えがあると思う。例えば、物を大切にしたり、食べ物に粗末をしない、「もったいない」の精神は、生活における様々なものに神々の存在を認めてきたからこそ自然に発生した精神である。これは、日本人が世界に誇るべき考え方であると思う。しかし、近年私達は資本主義経済のもと大量消費社会になりつつある。私達自身が日本人のもつ考え方を殺してしまっているのではないだろうか。今一度「ミズム」の考え方に立ち帰り、物を大切にする、持続可能な社会を形成していくのが必要であると思う。そのために、自分が物を大切にしたいと思う。

○ ① 多様な神々のなかから、1つのことに捉われなく、他人の意見を尊重し、行動できるという、謙虚な心が生まれることは日本人のよさだと思う。おと祖霊信仰が昔から存在しているから、日本人は伝統に重んじられるおと祖霊信仰を大切にしたい。② 祖霊信仰と八百草神は自分の中でかなり意識している部分である。例えば、祖霊信仰が特別な日だけ祈るのではなく、逆効果になると考えて1週間に1度は必ずお墓に行くようにしている。また八百草神は野辺の隅々には、常に神が存在していると考えて、雑草は必ず見回りをして、お墓の前でも株をいかに取り除くようにしている。お墓が傷付かないように、お墓の準備は必ず丁寧に行うようにしている。

(4) 岩手県立大船渡東高等学校 齋藤 信太郎 教諭

ア 単元構想シート (地理A)

| 高等学校地理歴史科(地理A) 単元構想シート   |  | 学校名  | 岩手県立大船渡東高等学校 |
|--|--|--|--------------|
| 第4章 地球規模で広がる課題<br>世界の環境問題  |  | 対象学級   | 2年情報処理科      |
|  |  | 生徒数  | 計37名         |
|  |  | 担当者  | 齋藤 信太郎       |
| 1 単元の目標(何ができるようになるか)   |  |  |              |
| 知識・技能  | 思考力・判断力・表現力等   | 学びに向かう力等   |              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>環境問題の種類や定義、原因や現在行われている対策などの基礎的な概念、知識を理解すること。(知識)</li> <li>諸資料から、環境問題の現状や今後の展望、諸要因などに関する情報を効果的に読み取り、まとめること。(技能)</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>環境問題の原因や背景、解決に向けた方策やなぜ解決されないかなどに、論理的に思索を深めること。(思考力)</li> <li>環境問題について思索した結果を発表し、対話したり、説明したりすること。(思考力・判断力・表現力等)</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>環境問題を自分事として捉え、その理解に向けて主体的に調べ、課題を意欲的に追求すること。</li> <li>環境問題について論理的に思考し、その解決に向けて他者と協働して意欲的に考察・構想すること。</li> </ul>   |              |
| 2 単元で働かせる「見方・考え方」  |  |  |              |
| 環境問題の種類や定義、原因や現在行われている対策について、位置や空間的な広がり・背景などに着目して捉え、課題の解決に向けて、地域や人間の営みと関連付けて考察する。  |  |  |              |
| 3 単元における「学習課題」と「期待する姿(ゴール像)」   |  |  |              |
| 【単元の学習課題】<br>世界にはどのような環境問題があるか？なぜ環境問題は解決されないのか？解決するにはどうすればいいか？   |  |  |              |
| 【期待する姿(ゴール像)】<br>現在世界で発生している環境問題について自分事として捉え、その解決に向けて主体的・論理的に思索し、他者と協働して解決に向けた方策を発表することができる。   |  |  |              |
| 4 単元の評価規準  |  |  |              |
| 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>環境問題の種類や定義、原因や現在行われている対策などの基礎的な概念、知識を理解している。(知識)</li> <li>諸資料から、環境問題の現状や今後の展望、諸要因などに関する情報を効果的に読み取り、まとめることができる。(技能)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>環境問題の原因や背景、解決に向けた方策やなぜ解決されないかなどに、論理的に思索を深めることができる。(思考力)</li> <li>環境問題について思索した結果を発表し、対話したり、説明したりすることができる。(思考力・判断力・表現力等)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>環境問題を自分事として捉え、その理解に向けて主体的に調べ、課題を意欲的に追求することができる。</li> <li>環境問題について論理的に思考し、その解決に向けて他者と協働して意欲的に考察・構想することができる。</li> </ul>   |              |
| 5 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて  |  |  |              |
| 主体的な学び   | 対話的な学び   | 深い学び   |              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題の把握の上に、その解決への見通しをもたせる。(1時間目)</li> <li>・課題追究の必然性を持たせる導入を設定する。</li> <li>・学習内容に応じて振り返りの場面の設定し、自己の成長を自覚(メタ認知)させる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒間での対話、教員や現在環境問題に向き合っている人の記事などとの対話といった場を設定し、自己の考えを広げ深めさせる。(1、2時間目)</li> <li>・学習内容に応じて様々な対象との対話の場を設定し、自己の考えの深まりを促す。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○環境問題の解決についての見方・考え方を活用した考察や、説明、議論等の学習活動が組み込まれた、課題を追求したり解決したりする場を設定する。(3時間目)</li> <li>○社会的事象の特色や意味、理論などを含めた社会の中で汎用的に使うことのできる概念等に関する知識を獲得するように学習を設計する。(1～3時間目)</li> <li>・概念としての知識を活用して課題解決に向かうことを促す良質な問い(課題)の設定する。</li> </ul> |              |

| 6 単元の指導と評価の計画(全3時間) |              |  |   |
|---------------------|--------------|--|---|
| 時間                  | 学習内容         | 【評価の観点】<br>評価規準<br>[評価方法]  | 学習課題(■)と主な学習活動(○)   |
|                     |              |  | 主体的・対話的で深い学び(重点)  |
| 1                   | 世界の環境問題      | <p>【知識・技能】<br/>環境問題についての種類や定義、原因や現在行われている対策などの基礎的な概念、知識を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>習得した個別の知識をを概念化し、環境問題の原因や自らのかかわりについて考えを深めている。</p> <p>[ワークシート]</p> | <p>■「世界にはどのような環境問題があるか？」<br/>○環境問題についての種類や定義、原因や現在行われている対策などの基礎的な概念、知識を理解し、その原因について考える。</p> <p>主体的な学び      対話的な学び      深い学び</p> |
| 2                   | 地球的課題の解決にむけて | <p>【知識・技能】<br/>環境問題の課題に関わる個別の知識を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>習得した個別の知識をを概念化し、環境問題の解決にむけて思索を深めている。</p> <p>[ワークシート]</p>                                 | <p>■「なぜ環境問題は解決されないのか？」<br/>○環境問題の背景、原因、現状、課題について考える。</p> <p>主体的な学び      対話的な学び      深い学び</p>                                    |
| 3                   | 単元のまとめと振り返り  | <p>【主体的に関わろうとする態度】<br/>環境問題を自分ごととして捉えたうえで、その解決に向けて具体的な提案ができる。</p> <p>[ワークシート・発表に基づくパフォーマンス評価]</p>  | <p>■「環境問題の解決のためにあなたはなにができるか？」<br/>○グループで環境問題の解決に向けた議論を行い、解決に向けた提案を行う。</p> <p>主体的な学び      対話的な学び      深い学び</p>                   |



(5) 岩手県立山田高等学校

ア 単元構想シート (現代社会)

| 高等学校現代社会 単元構想シート   |  | 学校名   | 岩手県立山田高等学校 |
|--|--|---|------------|
| 第4章 現代の経済と国民福祉<br>経済社会の変容と、市場経済のしくみ  |  | 対象学級  | 2年A組       |
|  |  | 生徒数   | 13名        |
|  |  | 担当者   | 泉 径宏       |
| 1 単元の目標(何ができるようになるか)   |  |   |            |
| 〔知識・技能〕  | 〔思考力・判断力・表現力等〕   | 〔学びに向かう力・人間性等〕  |            |
| ・経済学の基礎的な理論的背景を学び、経済の歴史の変容の流れを理解する。(知識)<br>・価格決定のメカニズムや、「大きな政府」と「小さな政府」の相違といった、ミクロ・マクロの基礎的な経済の知識を身につけ、現代社会における経済の仕組みを説明することができる。(技能)       | ・資本主義の成立以降、各国の経済思想が変容してきた歴史的背景を踏まえながら経済政策を考察し、なぜその政策を採るに至ったのかを考えることができる。                             | ・先哲の思想や経済発展の歴史の学習を通して、山田町の課題を分析し、さらなる地域の発展のためにその課題を解決する方策を見出す。さらに、町がより発展するための方策を提案し、対話を通して実行に向けた方向性を示すことができる。 |            |
| 2 単元で働かせる「見方・考え方」  |  |   |            |
| 現代社会の経済政策を、縦軸(歴史的背景)と横軸(各国の比較)に着目して捉え、よりよい社会の構築に向けて現代の経済を歴史的・地理的要素や思想を関連付けながら考察する。   |  |   |            |
| 3 単元における「学習課題」と「期待する姿(ゴール像)」   |  |   |            |
| 【単元の学習課題】<br>山田町の発展には、どのような経済政策が必要か。   |  |   |            |
| 【期待する姿(ゴール像)】<br>・生徒にとって、経済は難解なものというイメージが先行しがちである。しかし、地域社会で生きていくにあたって、経済学的な見方・考え方を身につけることが重要であると認識し、生徒の豊かな想像力をもって、主体的に地域振興に向けた方策を示すことができる。 |  |   |            |
| 4 単元の評価規準  |  |   |            |
| 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |            |
| ・経済社会のしくみが時代とともに変化し、様々な思想を取り入れながら現代経済が形成されてきたことを理解する。(知識)<br>・「大きな政府」と「小さな政府」の違いを理解した上で、それぞれの長所・短所をまとめ、説明する。(技能)                           | ・均衡価格が需要と供給の関係で決定することを理解した上で、経済生活を送るなかで、様々な要因が需要と供給を変化させることを判断し、価格がどのように変化するかを経済の見方・考え方から説明することができる。 | ・経済を学習することにより、日常の生活や、将来の職業選択に経済思想が大きく関わっていることを知り、地域の振興・発展につながる課題発見・解決の力を身につけ、自らの意見を述べるができる。                   |            |

| 6 単元の指導と評価の計画 |           |   |   |
|---------------|-----------|---|---|
| 時間            | 学習過程      | 【評価の観点】<br>評価規準<br>[評価方法]   | 学習課題(■)と主な学習活動(○)・その他(★)  |
|               |           |   | 主体的・対話的で深い学び(重点)  |
| 1             | 需要と供給     | 【知識・技能】<br>・アダム・スミスの思想と、価格決定の基本的なメカニズムを理解する。  | ■「『利己的な行動』は良いことなのか？悪いことなのか？」<br>○アダム・スミスの思想を学び、人々の利己心に基づく行動が需要と供給を調整して均衡価格に向かうことを理解する。<br><br>主体的な学び   対話的な学び   深い学び    |
| 2             | 均衡価格の変化   | 【思考・判断・表現】<br>・農作物の不作や、工業製品の生産効率向上といった、様々な状況下で、どのように需給が変化し、均衡価格の変動が起こるのかを、グループ内で協議しながら説明することができる。<br><br>[ワークシート] | ■「今年のサンマはなぜ高い？」<br>○需要と供給の関係から価格が決定することを、ワールドカフェ形式で説明し合う。<br><br>主体的な学び   対話的な学び   深い学び                                 |
| 3             | 有効需要の原理   | 【主体的に関わろうとする態度】<br>・地域における失業対策をどのように講じるか考えることで、経済施策を他人事とするのではなく、地元経済に主体的に関わっていく姿勢を身につける。<br><br>[グループワーク]         | ■「山田町に失業者があふれていたらどうするか」<br>○従来の、自由放任を基本とする経済体制が、ケインズの登場により一変したことを理解する。<br><br>主体的な学び   対話的な学び   深い学び                    |
| 4             | イノベーション   | 【知識・理解】【思考・判断・表現】<br>・イノベーションにより経済が発展してきたことを理解するとともに、山田町にイノベーションを生み出すにはどのような方法があるかを考える。<br><br>[パフォーマンス課題シート]     | ■「山田町にイノベーションを生み出すには？」<br>○シュンペーターの思想を踏まえ、経済発展にはイノベーションが不可欠であることを理解する。<br>★パフォーマンス課題実践の準備<br><br>主体的な学び   対話的な学び   深い学び |
| 5             | パフォーマンス課題 | 【思考・判断・表現】<br>・これまで学習してきた内容を踏まえ、山田町の課題分析を行い、地域振興への提言を行う。<br><br>[パフォーマンス評価]                                       | ■「山田町の課題を分析し、発展にむけた振興策を考える」<br>★パフォーマンス課題の実践<br><br>主体的な学び   対話的な学び   深い学び  |

## イ パフォーマンス課題とルーブリック

### ・パフォーマンス課題

|  |
|--|
| <p>山田町の課題と振興策は ～町のさらなる発展のために～</p> <p>あなたは、地元の復興と発展にたずさわりたいと、山田町職員の採用試験を受けることにした。ここでは、以下のような課題が提示された。現代社会で学習した内容を踏まえながら提示してみよう。</p> <p><b>【課題】</b> 配付した山田町の統計資料を参考に、町が抱える課題を発見したうえで、その解決策について具体例をあげて提示しなさい。</p> |
|--|

・ルーブリック

観点のうち「思考・判断・表現」を評価するものとして設定

|      |                             |
|------|-----------------------------|
| 評価規準 | ① 山田町の課題を、資料を読み取り提示している。    |
| 判断基準 | ② 課題に対応した解決策を示している。         |
|      | ③ 具体例を適切にあげている。             |
| 5 ※A | 上記3点を満たし、解決策が効果的であり、現実性がある。 |
| 4    | 上記3点を満たし、解決策に現実性がある。        |
| 3 ※B | 上記3点を満たしている。                |
| 2    | 上記3点を満たしているが、不十分な内容となっている。  |
| 1 ※C | 上記3点を満たしていない                |

ウ 生徒作成事例

**山田町の課題**

◻ 人口減少、少子高齢化  
 ◦ 塩分とりすぎによる病気  
 ◦ 観光地が小さい  
 ◦ 特産物の自慢レベルが低い  
 ◦ 就職の場が少ない

2015年人口 15826人  
 新所 旧跡、観光 鯨と海の科学館  
 フォニア島  
 かき小屋

観光ツアーあり  
 フェスタの途中  
 道と駅や観光地の  
 関係

◦ 山田町でアピールする人が少ない

---

**解決策・振興策**

X 塩と塩と他を混ぜて5:5くらいで混ぜる(このあたり)。  
 O 少子高齢化は町で子育てしやすい環境をつくる。移住者増やす?  
 ↳ 保育園の給料を上げて研修員を増やす  
 それなら、入る人も増える。  
 ◦ 中学生、高校生のアルバイトとして、中学生は小学生、高校生は中学生と  
 整えたいとする。  
 ・これにより、人口減少も少しは抑えられ、減少が止まると思う。

O 人口減少しているから、もともと漁業のことをアピールしていかないと。  
 ↳ 「実は……バカリ」的のことをアピール、地元の名物を増やす。  
 厳しい「172」は「172」、メリットも何かあることをアピールし、  
 若い人、後継者を増やす。

保育園の給料を上げると  
 価格 ↑      需要      供給      ↓      量  
 価格 ↑      需要      供給      ↓      量

O 山田町だけを紹介するメニューバー  
 ↳ 町の様子      報告  
   ・特産物  
   ・観光地      T12  
   ・石臼  
 ◦ 有名なメニューバーを山田町に招く

(6) 岩手県立福岡高等学校 外山 えり子 教諭

ア 単元構想シート (日本史B)

| 高等学校日本史B単元構想シート  |  |   | 学校名 | 岩手県立福岡高等学校 |
|--|--|---|-----|------------|
| 第5章 武家社会の成長<br>1 室町幕府の成立<br>3 室町文化   | 対象学級   | 2年 文系   |     |            |
|  | 生徒数  | 45名   |     |            |
|  | 担当者  | 外山 えり子  |     |            |
| 1 単元の目標(何ができるようになるか)   |  |   |     |            |
| 知識・技能  | 思考力・判断力・表現力等   | 学びに向かう力等  |     |            |
| ①足利義満が中心となって生み出した北山文化がどのような時代背景のもと形成されたか理解している(知識)<br>②幕政の安定のために義満が利用した権力や外交的立場を理解している(知識)<br>③諸資料から情報を効果的に読み取り、まとめることができる(技能) | 南北朝の動乱を経て成立した室町幕府の性質や幕政安定のために行われたことを総合して考察し、北山文化期がどのような時代であったか表現すること。  | 事象の複雑な関連を整理しながら、主体的に調べ、意欲的に課題を追究すること。   |     |            |
| 2 単元で働かせる「見方・考え方」  |  |   |     |            |
| 北山文化の意義を、時代背景や推移などに着目して捉え、事象の因果関係を関連付け、多面的な立場から考察する。   |  |   |     |            |
| 3 単元における「学習課題」と「期待する姿(ゴール像)」   |  |   |     |            |
| 【単元の学習課題】<br>1 北山文化の意義を3代将軍足利義満の立場から説明し、他者にももしろさを伝えられる。  |  |   |     |            |
| 【期待する姿(ゴール像)】<br>3代将軍足利義満の治世は南北朝の動乱を収束させ、幕政の安定を内政・外交両面から図る立場と芸能を重んじる立場から構成される。この連関を自分の言葉で説明し、北山文化ならではのおもしろさを伝えられることを期待する。      |  |   |     |            |
| 4 単元の評価規準  |  |   |     |            |
| 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |     |            |
| ①足利義満が中心となって生み出した北山文化がどのような時代背景のもと形成されたか理解している(知識)<br>②幕政の安定のために義満が利用した権力や外交的立場を理解している(知識)<br>③諸資料から情報を効果的に読み取り、まとめることができる(技能) | 南北朝の動乱を経て成立した室町幕府の性質や幕政安定のために行われたことを総合して考察し、北山文化期がどのような時代であったか表現すること。  | 事象の複雑な関連を整理しながら、主体的に調べ、意欲的に課題を追究している。   |     |            |
| 5 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて  |  |   |     |            |
| 主体的な学び   | 対話的な学び   | 深い学び  |     |            |
| ○学習課題の把握し、解決への見通しをもつ。(1時間目)<br>・単元を通じた学習過程の中での動機付けや方向付け<br>・学習内容・活動に応じた振り返りの場面を設定し、生徒の表現を促す                                    | ○学習課題に対するキーワードを10個選ぶことを通じて、生徒同士の協働や、教員との対話、先哲の考え方を手掛かりに思考し、課題に正対する(1~3時間目)<br>○ 学習課題に対する説明を他者に伝えることを意識して行う(毎時) | ○学んだことをもとに問題を出し合うなど、学習内容の定着を図る(毎時)<br>○学ぶ過程で質問したり、学んだことを自身の言葉にすることで理解を深める(毎時) |     |            |

| 6 単元の指導と評価の計画(全4時間) |                      |  |   |
|---------------------|----------------------|--|---|
| 時間                  | 学習内容                 | 【評価の観点】<br>評価規準<br>[評価方法]  | 学習課題(■)と主な学習活動(○)   |
|                     |                      |  | 主体的・対話的で深い学び(重点)  |
| 1                   | 室町幕府の成立<br>北山文化の時代像  | 【主体的に関わろうとする態度】<br>課題を把握し、解決に向けて意欲的に探究しようとしている。<br>[観察]                            | ■「北山文化の面白さを伝えるための問(問の切り口)に気づこう」<br>○ 北山文化の記述から単元全体に通じるキーワードを探る<br>○ キーワードをもとに北山文化の時代像をとらえる視点を持つ<br><br>主体的な学び      対話的な学び      深い学び       |
| 2                   | 室町幕府の成立<br>内政面から捉える  | 【知識・技能】<br>教科書や資料を読み取り、情報を整理し適切にまとめている。<br>[観察]                                    | ■「幕政の安定をどのように図ったか(内政)」<br>○ 内政面から義満の政治を理解する<br>○ 説明に必要なキーワードを選ぶ<br>○ 説明に練習を通して全体像を把握する<br><br>主体的な学び      対話的な学び      深い学び                |
| 3                   | 3 室町幕府の成立<br>外交から捉える | 【知識・技能】<br>教科書や資料を読み取り、情報を整理し適切にまとめている。<br>[観察]                                    | ■「幕政の安定をどのように図ったか(外交)」<br>○ 義満の内政を踏まえ、外交の面から義満の政治の特徴を理解する。<br>○ 説明に必要なキーワードを選ぶ<br>○ 説明に練習を通して全体像を把握する<br><br>主体的な学び      対話的な学び      深い学び |
| 4                   | まとめと振り返り             | 【思考・判断・表現】<br>課題に対して、propose/reason/example/propose の段階を踏んでまとめている。<br>[ワークシートへの記述] | ■「北山文化のおもしろさはなんだったか」<br>○ 他者に課題に対する結論を説明する、聞く<br>○ 問題の出し合いを通じて自身の理解を深める<br>○ 自分自身の言葉でまとめる<br><br>主体的な学び      対話的な学び      深い学び             |

## イ パフォーマンス課題とルーブリック

### ・パフォーマンス課題

|  |
|--|
| 「北山文化のおもしろさ」を語る  |
| 自分自身が考える、「北山文化のおもしろさ」を語ってみよう。読んだ生徒が共感し、北山文化についてさらに深く勉強したいと思えるような文章を求む。 |
| なお、フォーマットは「提案・理由・実例・提案」の段階を踏むこと。                                       |

### ・ルーブリック

観点のうち「思考・判断・表現」を評価するものとして設定

| 評価規準 | 「北山文化の面白さ」について、提案・理由・実例・提案の段階を踏んで記述している。    |
|------|---|
| 5    | 提案・理由・実例・提案の段階を踏んで説明しており、理由と実例の両方が充実している。   |
| 4    | 提案・理由・実例・提案の段階を踏んで説明しており、理由または実例の一方が充実している。 |
| 3    | 提案・理由・実例・提案の段階を踏んで説明している。                   |
| 2    | 提案・理由・実例・提案の段階に不足がある。                       |
| 1    | 提案・理由・実例・提案の段階に大きく不足がある。                    |



ウ 記述例と評価例（担当が作成したもの）

例 1（評価 5）

私は北山文化のおもしろさは異なる階層の文化融合が、現代にもつながる日本の美意識となって行く点にあると思う。

現代、日本を代表する伝統芸能として思い浮かぶものの一つに能がある。これは、猿楽や田楽などの神事芸能が寺社の保護を受け、やがて上層の文化と融合して発達したものであり、現代にも通じる日本の美意識が確立していった一つのきっかけとなった例である。

この時代には足利義満の保護を受けた観阿弥・世阿弥が洗練された美を追求し、芸術性の高い猿楽能を完成させ、現代にまで受け継がれている。「風姿花伝」による「初心忘れるべからず」という言葉や「幽玄の美」という考え方は、われわれ現代人にも日本の美意識を感じさせるものである。

このように、北山文化のおもしろさは、庶民の文化から発展した文化が上級武士などにも広がり、やがて日本の美意識を形成していった点にあると思う。

- ・提案・理由・実例・提案の段階を踏んで説明している。「理由」「実例」ともに充実していると認められる。

例 2（評価 4）

私は北山文化のおもしろさは日本の伝統的文化や、外来文化が融合していった点にあると思う。

幕府が京都におかれたことで公家文化と武家文化が融合し、また東アジアとの交流が盛んになったことによって伝統文化と大陸文化の融合も進んだ。

鹿苑寺金閣は、この時代を象徴する建築である。

このように、北山文化のおもしろさは、文化の融合による独自性であり、それが現代まで続く日本の伝統文化となっていくところにあると思う。

- ・提案・理由・実例・提案の段階を踏んで説明している。「理由」は充実していると認められるが、「実例」が充実しているとは認められない。

例 3（評価 3）

私は北山文化のおもしろさは東アジアとの交易が盛んになり、外来文化が流入し定着していった点にあると思う。

本来は中国で生まれた水墨画が伝えられ、日本でも盛んに描かれるようになった。

この時代に如拙の描いた瓢鮎図は、国宝にもなっているほどである。

このように、北山文化のおもしろさは、外来文化の流入と定着にあると思う。

- ・提案・理由・実例・提案の段階を踏んで説明している。

※「単元構想シート」の様式は、巻末に掲載するとともに、下記の岩手県立総合教育センターのホームページに電子データで掲載しております。ご活用下さい。

[http://www1.iwate-ed.jp/kenkyu/siryo/index\\_29.html](http://www1.iwate-ed.jp/kenkyu/siryo/index_29.html)





発行 岩手県立総合教育センター 教科領域教育担当  
〒025-0395 岩手県花巻市北湯口2-82-1  
TEL 0198-27-2735  
発行日 平成30年3月